

3. 投資信託保有状況(全体・現在保有者)

(1) 投資信託の保有状況(全体)

投資信託の保有状況を見ると、「現在持っている」は9.4%である。「以前持っていたが、現在は持っていない」は6.6%で、「これまで持ったことがない」が76.5%と大半を占める。

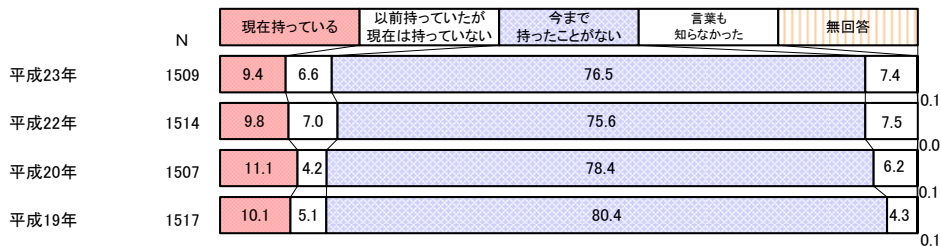
時系列でも、大きな変化はみられない。

対象者属性別にみると、性別では保有状況に大きな差はみられないが、年代別では、「現在持っている」「以前持っていたが、現在は持っていない」ともに年代が上がるにつれて高くなり、70歳以上では「現在持っている」が17.7%にのぼる。20代では「言葉も知らなかった」が22.7%と高い。

年収別で見ると、「現在持っている」率は100万円未満～500万円未満の層では10%に満たないが、800万円以上1000万円未満の層では20.3%となっている。

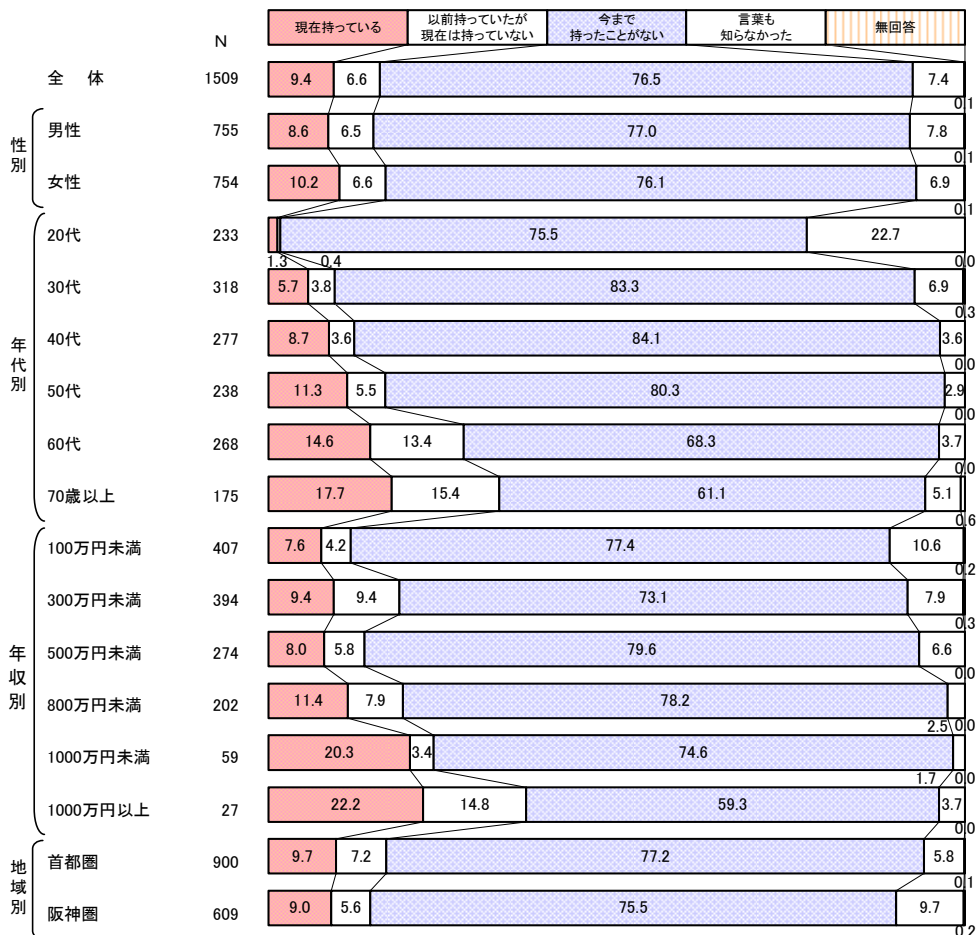
地域別では大きな差はみられない。

問2【投資信託の保有状況(単数回答)／時系列－全体ベース】



問2【投資信託の保有状況(単数回答)／対象者属性別－全体ベース】

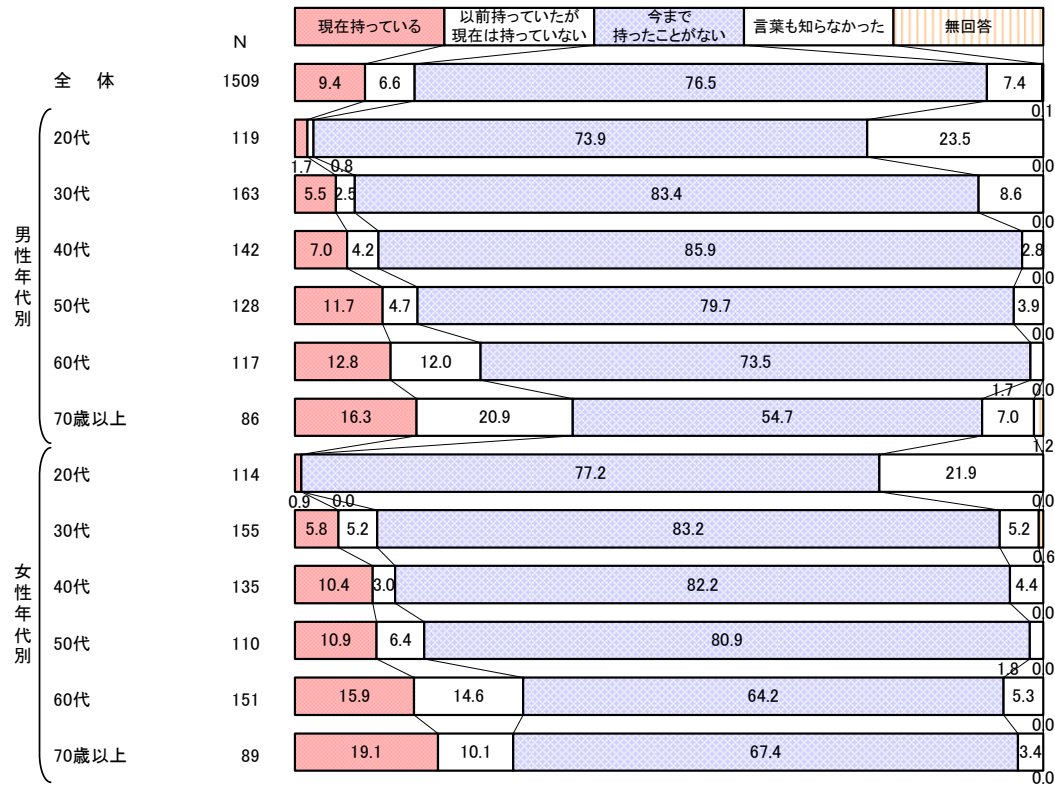
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



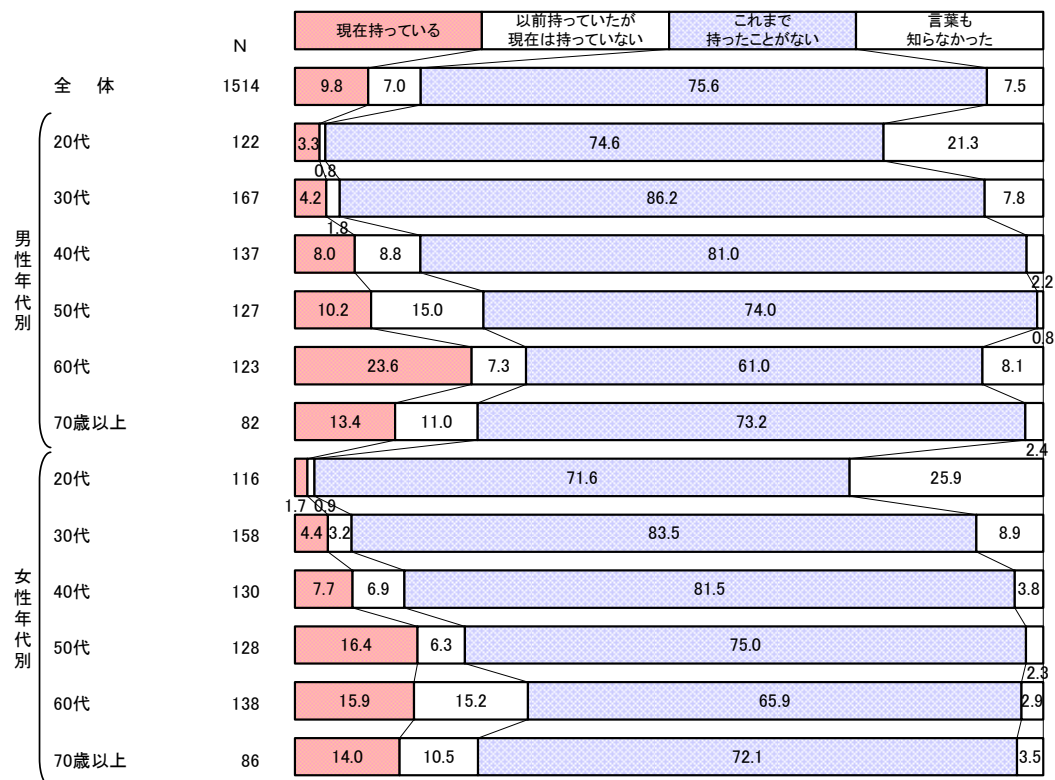
さらに、性×年代別にみると、「現在持っている」率は男女とも年代が上がるにつれて高くなっており、男性では「以前持っていたが、現在は持っていない」率にも同様の傾向がみられる。各年代別に時系列でみると、「現在持っている」率は、男性 60 代で前回や前々回調査に比べて低下している。

問 2 【投資信託の保有状況(単数回答)／性×年代別】

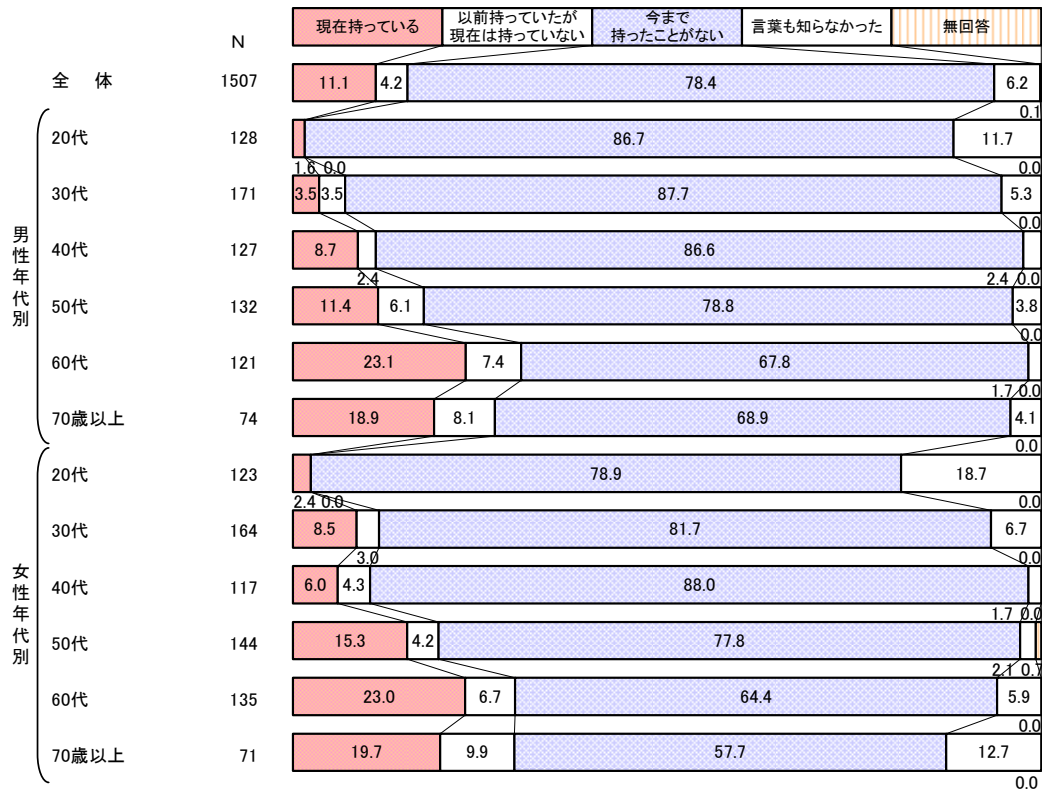
<平成 23 年>



<平成 22 年>



<平成 20 年>



(2) 投資信託保有者の特徴(現在保有層)

次に、現在投資信託を保有している人(現在保有層)の特徴をみてみよう。

年齢別構成比は「60代」が27.5%と最も高い。「60代以上」は、調査対象者全体でみると29.4% (113ページ【対象者年齢/時系列】グラフ参照)であるが、現在保有層では49.3%と高年齢層寄りとなっている。

時系列でみると、前回と前々回調査に比べると「60代」(27.5%)がやや低下し、「70歳以上」(21.8%)がやや上昇した。

職業別構成比では、「無職・その他」が42.3%と半数近くを占める。次いで「自営商・サービス業」と「事務系の勤め人」(ともに16.2%)、「技術系の勤め人」(9.2%)、「管理職・役員」(8.5%)の順となっている。

時系列でみると、「無職・その他」では、前々回調査以降、下降傾向がみられる。

【投資信託現在保有層の年齢別構成比(単数回答)/時系列】

N		20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
平成23年	142	12.7	16.9	19.0	27.5	21.8	
平成22年	149	4.0	9.4	14.1	22.8	34.2	15.4
平成20年	167	3.0	12.0	10.8	22.2	35.3	16.8
平成19年	153	6.5	11.8	13.7	26.8	27.5	13.7

【投資信託現在保有層の職業別構成比(単数回答)/時系列】

N		農・林・漁業者	自営商・サービス業	製造・修理・加工業	自由業	事務系の勤め人	技術系の勤め人	労務系の勤め人	管理職・役員	学生	無職・その他
平成23年	142	0.0	16.2	1.4	1.4	16.2	9.2	4.9	8.5	0.0	42.3
平成22年	149	0.0	16.1	3.4	10.7	10.1	3.4	7.4	0.0	0.0	47.7
平成20年	167	0.0	19.2	0.0	1.3	12.6	4.2	3.6	5.4	0.0	53.3
平成19年	153	0.7	22.9	0.0	1.8	9.8	0.7	9.2	4.6	7.8	41.2

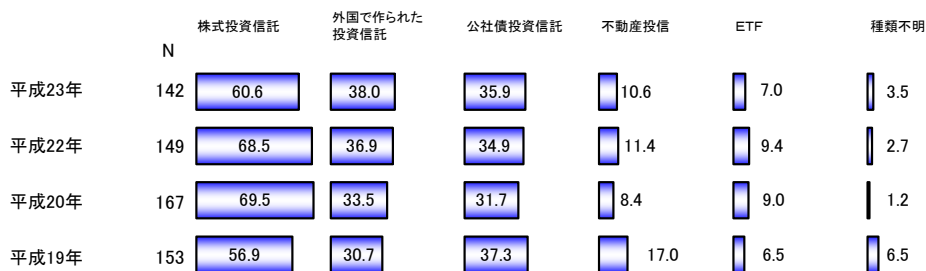
(3) 投資信託の保有種類(現在保有層)

現在保有層における投資信託保有種類としては、「株式投資信託」が60.6%で最も高く、「外国で作られた投資信託」(38.0%)と「公社債投資信託」(35.9%)が同程度で続いている。

投資信託保有種類数を回答サンプルで除して平均保有種類数を求めると、1.52種類である。時系列でみると、前回、前々回調査に比べて「株式投資信託」がわずかながら低下している。性別でみると、「株式投資信託」の保有率は女性より男性の方が高く、平均保有種類数も男性が女性をやや上回っている。

なお、参考までに、投資信託の種類別保有率を調査対象全体ベースに換算すると、「株式投資信託」は5.7%となる。

問3①【投資信託の保有種類(重複回答)／時系列－現在保有層ベース】



問3①【投資信託の保有種類(重複回答)／対象者属性別－現在保有層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データをみる際に注意が必要。

(上段:N)(下段:%)

	全 体	株式投資信託	外国で作られた投資信託	公社債投資信託	不動産投信	ETF	種類不明	平均保有種類数	
全 体	142 100.0	86 60.6	54 38.0	51 35.9	15 10.6	10 7.0	5 3.5	1.52	
性別	男 性	65 100.0	45 69.2	21 32.3	24 36.9	9 13.8	5 7.7	2 3.1	1.80
	女 性	77 100.0	41 53.2	33 42.9	27 35.1	6 7.8	5 6.5	3 3.9	1.45
年代別	20代	3 100.0	2 66.7	1 33.3	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-	3.00
	30代	18 100.0	9 50.0	8 44.4	5 27.8	-	1 5.6	-	1.28
	40代	24 100.0	12 50.0	11 45.8	11 45.8	1 4.2	1 4.2	1 4.2	1.50
	50代	27 100.0	15 55.6	11 40.7	8 29.6	1 3.7	2 7.4	2 7.4	1.37
	60代	39 100.0	29 74.4	14 35.9	8 20.5	7 17.9	4 10.3	-	1.59
	70歳以上	31 100.0	19 61.3	9 29.0	16 51.6	4 12.9	1 3.2	2 6.5	1.58
	年取別	100万円未満	31 100.0	17 54.8	13 41.9	13 41.9	4 12.9	3 9.7	1 3.2
300万円未満	37 100.0	24 64.9	13 35.1	11 29.7	4 10.8	-	1 2.7	1.41	
500万円未満	22 100.0	14 63.6	10 45.5	5 22.7	2 9.1	1 4.5	1 4.5	1.45	
800万円未満	23 100.0	14 60.9	7 30.4	11 47.8	3 13.0	4 17.4	1 4.3	1.70	
1000万円未満	12 100.0	10 83.3	4 33.3	4 33.3	1 8.3	2 16.7	-	1.75	
1000万円以上	6 100.0	3 50.0	2 33.3	2 33.3	-	-	1 16.7	1.17	

問3①【投資信託種類別保有率(重複回答)／時系列－全体ベース】

(%)

	全 体	株式投資信託	外国で作られた投資信託	公社債投資信託	不動産投信	ETF	種類不明
平成23年	1509	5.7	3.6	3.4	1.0	0.7	0.3
平成22年	1514	6.7	3.6	3.4	1.1	0.9	0.3
平成20年	1507	7.7	3.7	3.5	0.9	1.0	0.1
平成19年	1517	5.7	3.1	3.8	1.7	0.7	0.7

(4) 投資信託の購入額(現在保有層)

現在保有層における投資信託の保有種類別平均購入額をみると、「外国で作られた投資信託」(310.4万円)が最も高く、次に「株式投資信託」(241.8万円)、「公社債投資信託」(241.2万円)がほぼ同額で続いている。

平均購入額を時系列でみると、「株式投資信託」は平成20年から平成22年で約40万円、平成22年から平成23年で60万円半ばと、2年続けて大きく減少し、「外国で作られた投資信託」は約30万円ずつ増加している。

なお、1人あたりの合計購入額の平均は390.2万円であり、前回より約20万円低下した。

問3②【投信保有種類別購入額－現在保有層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データをみる際に注意が必要。

(上段:N)(下段:%)

	全 体	100万円未満	300万円未満	500万円未満	800万円未満	1000万円未満	1000万円以上	投資額不明
株式投資信託	86 100.0	32 37.2	36 41.9	7 8.1	5 5.8	3 3.5	2 2.3	1 1.2
外国で作られた投資信託	54 100.0	19 35.2	20 37.0	5 9.3	4 7.4	1 1.9	4 7.4	1 1.9
公社債投資信託	51 100.0	19 37.3	19 37.3	7 13.7	5 9.8	-	1 2.0	-
不動産投信	15 100.0	8 53.3	6 40.0	1 6.7	-	-	-	-
ETF	10 100.0	7 70.0	2 20.0	1 10.0	-	-	-	-
合計購入額	142 100.0	28 19.7	50 35.2	21 14.8	13 9.2	2 1.4	13 9.2	15 10.6

時系列 投信平均購入額(万円) (上段:万円)(下段:人)

	H23年	H22年	H20年	H19年
株式投資信託	241.8 86	307.9 102	345.2 116	342.9 87
外国で作られた投資信託	310.4 54	275.9 55	248.2 56	390.4 47
公社債投資信託	241.2 51	253.9 52	249.0 53	259.8 57
不動産投信	133.3 15	400.0 17	328.6 14	332.0 26
ETF	115.0 10	167.9 14	396.4 15	320.0 10
合計購入額	390.2 142	410.1 149	412.9 167	432.2 153

(5) 株式投資信託の保有種類と購入額(現在保有層のうち株式投資信託保有者)

現在保有層のうち、株式投資信託保有者が保有している株式投資信託の種類は「国内株式に主に投資する株式投信」(61.6%)が最も高く、次いで「外国債券に主に投資する株式投信」(36.0%)、「外国株式に主に投資する株式投信」(24.4%)、「様々な資産に投資する株式投信」(19.8%)の順に続く。

時系列でみると、平成20年以降「国内株式に主に投資する株式投信」保有率は上昇傾向が続いているが、「様々な資産に投資する株式投信」はわずかながら下降傾向がみられる。

株式投資信託の保有種類数を回答サンプルで除して平均保有種類数を求めると、1.60種類であり、時系列でみても大きな変化はみられない。

また、対象者属性別では、男性の方が女性より「国内株式に主に投資する株式投信」や「外国債券に主に投資する株式投信」の保有率が高く、平均保有数も男性の方が多い。

なお、株式投資信託の保有種類別に投資額をみると、「国内株式に主に投資する株式投信」は217.0万円、「外国債券に主に投資する株式投信」は193.5万円等となっている。

問4①【株式投資信託の種類別保有率(重複回答)／時系列

－現在保有層・株式投資信託保有者ベース

(上段:N)(下段:%)

	全 体	国内株式に 主に投資する 株式投信	外国債券に 主に投資する 株式投信	外国株式に 主に投資する 株式投信	様々な資産に 投資する 株式投信	不動産投信に 主に投資する 株式投信	よく わからない	その他	投資先不明	平均保有 種類数
平成23年	86 100.0	53 61.6	31 36.0	21 24.4	17 19.8	11 12.8	4 4.7	1 1.2	-	1.60
平成22年	102 100.0	51 50.0	46 45.1	25 24.5	28 27.5	15 14.7	-	8 7.8	1 1.0	1.70
平成20年	116 100.0	48 41.4	52 44.8	30 25.9	37 31.9	11 9.5	-	5 4.3	1 0.9	1.59
平成19年	87 100.0	45 51.7	28 32.2	13 14.9	17 19.5	9 10.3	-	3 3.4	15 17.2	1.60

※ 今回より「よくわからない」を追加。

問4①【株式投資信託の種類別保有率(重複回答)／対象者属性別

－現在保有層・株式投資信託保有者ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

(上段:N)(下段:%)

	全 体	国内株式に 主に投資する 株式投信	外国債券に 主に投資する 株式投信	外国株式に 主に投資する 株式投信	様々な資産に 投資する 株式投信	不動産投信に 主に投資する 株式投信	よく わからない	その他	投資先不明	平均保有 種類数
全 体	86 100.0	53 61.6	31 36.0	21 24.4	17 19.8	11 12.8	4 4.7	1 1.2	-	1.60
性別	男性	45 100.0	32 71.1	21 46.7	11 24.4	9 20.0	6 13.3	-	-	1.76
	女性	41 100.0	21 51.2	10 24.4	10 24.4	8 19.5	5 12.2	4 9.8	1 2.4	1.44
年代別	20代	2 100.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-	-	3.00
	30代	9 100.0	8 88.9	4 44.4	2 22.2	1 11.1	2 22.2	1 11.1	-	2.00
	40代	12 100.0	6 50.0	5 41.7	4 33.3	2 16.7	1 8.3	-	-	1.50
	50代	15 100.0	8 53.3	7 46.7	3 20.0	4 26.7	2 13.3	-	1 6.7	1.67
	60代	29 100.0	18 62.1	8 27.6	7 24.1	5 17.2	3 10.3	2 6.9	-	1.48
	70歳以上	19 100.0	11 57.9	6 31.6	4 21.1	4 21.1	2 10.5	1 5.3	-	1.47
	年収別	100万円未満	17 100.0	9 52.9	3 17.6	6 35.3	3 17.6	2 11.8	2 11.8	1 5.9
300万円未満		24 100.0	10 41.7	9 37.5	4 16.7	6 25.0	4 16.7	2 8.3	-	1.46
500万円未満		14 100.0	10 71.4	6 42.9	2 14.3	-	1 7.1	-	-	1.36
800万円未満		14 100.0	11 78.6	7 50.0	3 21.4	5 35.7	2 14.3	-	-	2.00
1000万円未満		10 100.0	8 80.0	5 50.0	4 40.0	3 30.0	2 20.0	-	-	2.20
1000万円以上		3 100.0	1 33.3	1 33.3	2 66.7	-	-	-	-	1.33

問4②【株式投資信託の保有種類別購入額－現在保有層・株式投資信託保有者ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データをみる際に注意が必要。

(上段:N)(下段:%)

	全 体	100万円未満	300万円未満	500万円未満	800万円未満	1000万円未満	1000万円以上	投資額不明	平均投資額 (万円)
国内株式に主に 投資する株式投信	53 100.0	23 43.4	23 43.4	3 5.7	1 1.9	1 1.9	2 3.8	-	217.0
外国債券に主に 投資する株式投信	31 100.0	13 41.9	13 41.9	2 6.5	3 9.7	-	-	-	193.5
外国株式に主に 投資する株式投信	21 100.0	8 38.1	9 42.9	2 9.5	1 4.8	-	1 4.8	-	245.2
様々な資産に 投資する株式投信	17 100.0	5 29.4	5 29.4	4 23.5	1 5.9	1 5.9	-	1 5.9	275.0
不動産投信に主に 投資する株式投信	11 100.0	9 81.8	1 9.1	1 9.1	-	-	-	-	95.5
よくわからない	4 100.0	3 75.0	1 25.0	-	-	-	-	-	87.5
その他	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	50.0

4. 投資信託購入状況(現在保有層・保有経験層)

(1) 投資信託購入のきっかけ

投資信託を購入したきっかけは、「証券会社や銀行等の人から勧められて」が63.5%で最も高く、他を大きく上回る。次いで、「家族・友人から良いという話を聞いて」(20.7%)が高く、「新聞や雑誌記事等で良さそうだったので」(8.3%)、「商品広告等を見て良さそうだったので」(7.9%)、「インターネットで良さそうだったと思ったので」(7.5%)、「電話案内やDMが送られてきたので」(7.1%)は同程度で並んでいる。

時系列で見ると、「商品広告等を見て良さそうだったので」はやや低下している。

対象者属性別にみると、性別では「家族・友人から良いという話を聞いて」は女性の方が、「新聞や雑誌記事等で良さそうだったので」「商品広告等を見て良さそうだったので」「インターネットで良さそうだったと思ったので」は男性の方が高く、男性は女性に比べて能動的に情報収集をしているともいえる。

年代別では、30代はそれ以上の年代に比べ「証券会社や銀行等の人から勧められて」が低く、「新聞や雑誌記事等で良さそうだったので」「インターネットで良さそうだったと思ったので」が高い。

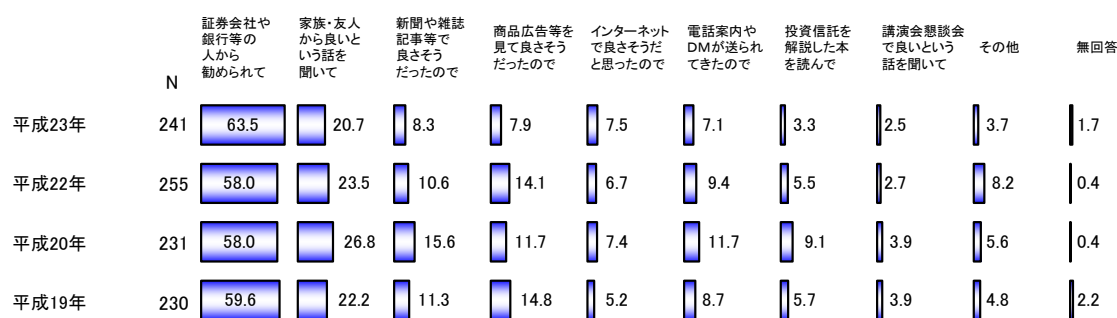
年収別では、「800万円未満」の各層では大きな差はみられない。

地域別では、大きな差がみられる項目はない。

投資信託保有状況別で見ると、いずれの項目とも現在保有層と保有経験層では大きな差はみられない。

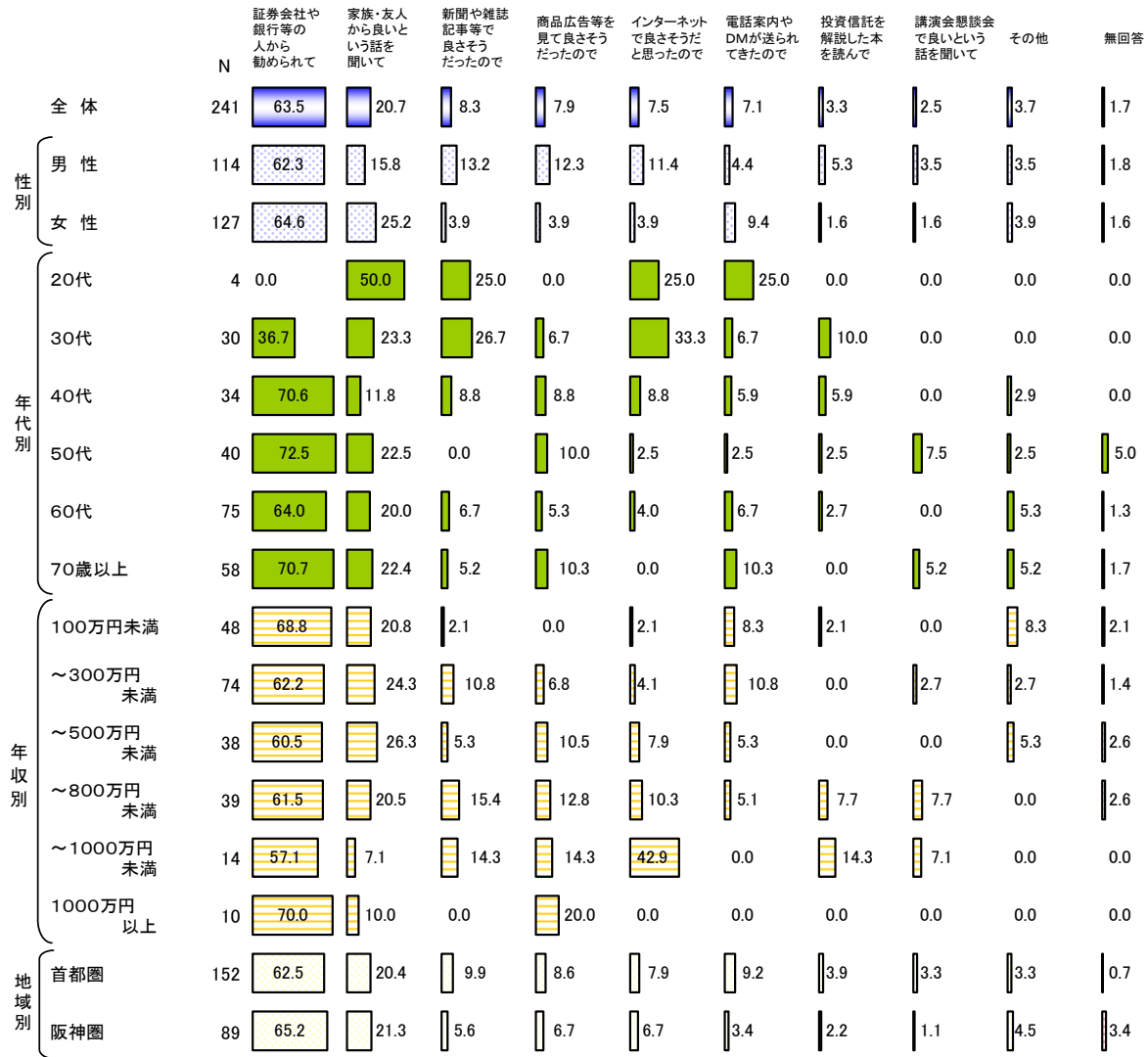
投資信託保有種類別では、大きな差はみられない。

問7【投資信託購入のきっかけ(重複回答)】時系列—現在保有層・保有経験層ベース



問7【投資信託購入のきっかけ(重複回答)／対象者属性別ー現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



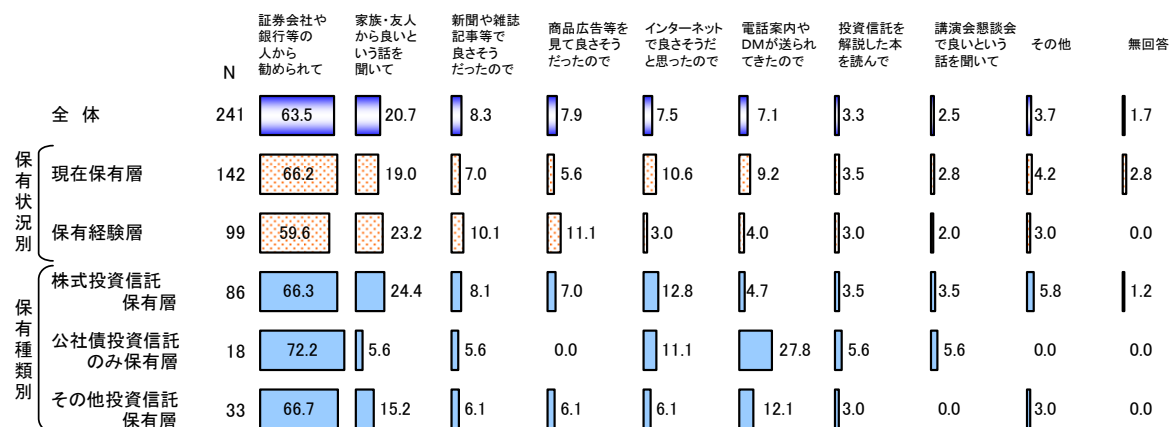
問7【投資信託購入のきっかけ(重複回答)／保有状況・保有種類別

ー現在保有層・保有経験層ベース】

注)投資信託保有種類別については回答結果をもとに以下のグループに分類した。

- ①『株式投資信託保有層』=株式投資信託保有者
- ②『公社債投資信託のみ保有層』=「公社債投資信託」のみ保有者(①は除く)
- ③『その他投資信託保有層』=①と②を除く投資信託保有者

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



(2) 販売員の説明・勧誘方法

①販売員の説明・勧誘方法への満足状況

投資信託を購入した際の販売員の説明や勧誘の仕方等に「とても満足した」は3.7%、「まあ満足した」は38.2%であり、これらを合わせた“満足層”は41.9%を占める。

一方、「あまり満足しなかった」(10.8%)と「まったく満足しなかった」(1.2%)を合わせた“不満層”は12.0%にとどまる。「とても満足した」から「まったく満足しなかった」まで、5点から1点の得点を与えて平均値を算出したところ、3.3点となった。

時系列でみると、前回は前々回に比べて“満足層”比率が下がったが、今回は前回とほぼ同様の比率となっており、大きな変化はみられない。

対象者属性別にみると、性別では“満足層”比率に大きな差はみられない。

年代別では、40代で“満足層”比率が50%を超えてやや高いが、30代では30%に満たず、他層に比べて低い。

年収別では、100万円未満と100万円以上300万円未満の層では、他層に比べて“満足層”比率がやや高い傾向がみられる。

地域別では、大きな差はみられない。

投資信託保有状況別にみると、現在保有層の方が保有経験層に比べて“満足層”比率がやや高い。

投資信託保有種類別では、“満足層”比率はその他投資信託保有層では60%を超えており、株式投資信託保有層に比べて高い。

問8【販売員の説明・勧誘方法への満足状況(単数回答)／時系列

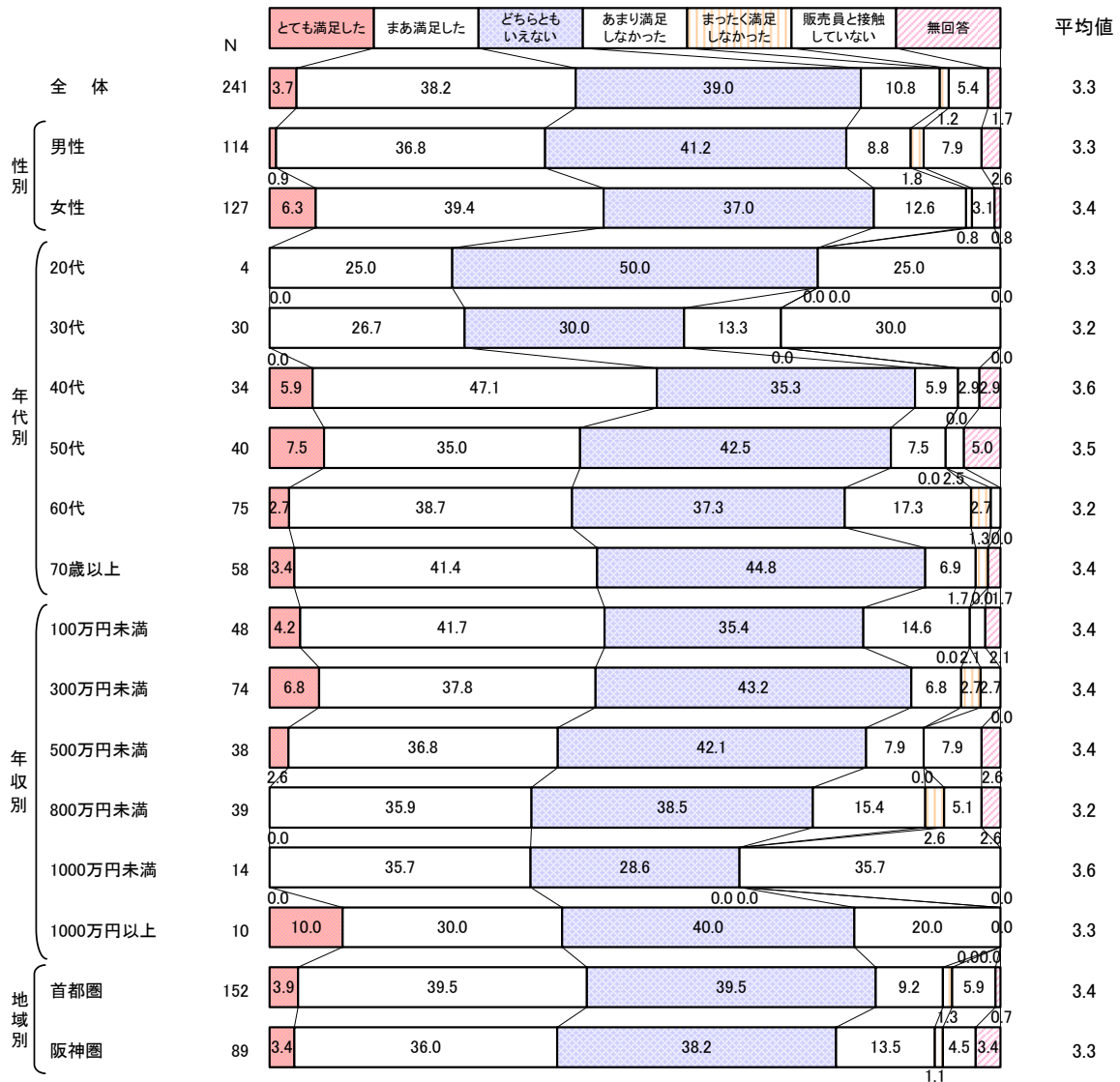
－現在保有層・保有経験層ベース

N	とても満足した	まあ満足した	どちらとも いえない	あまり満足 しなかった	まったく満足 しなかった	販売員と接触 していない	無回答	平均値
平成23年	3.7	38.2		39.0	10.8	5.4		3.3
平成22年	3.5	35.7		42.0	8.2	4.3	5.5	3.3
平成20年	3.9	51.1		33.8	6.5			3.5
平成19年	5.2	43.9		36.1	4.8	3.0	4.3	3.5

問8【販売員の説明・勧誘方法への満足状況(単数回答)】/対象者属性別

—現在保有層・保有経験層ベース

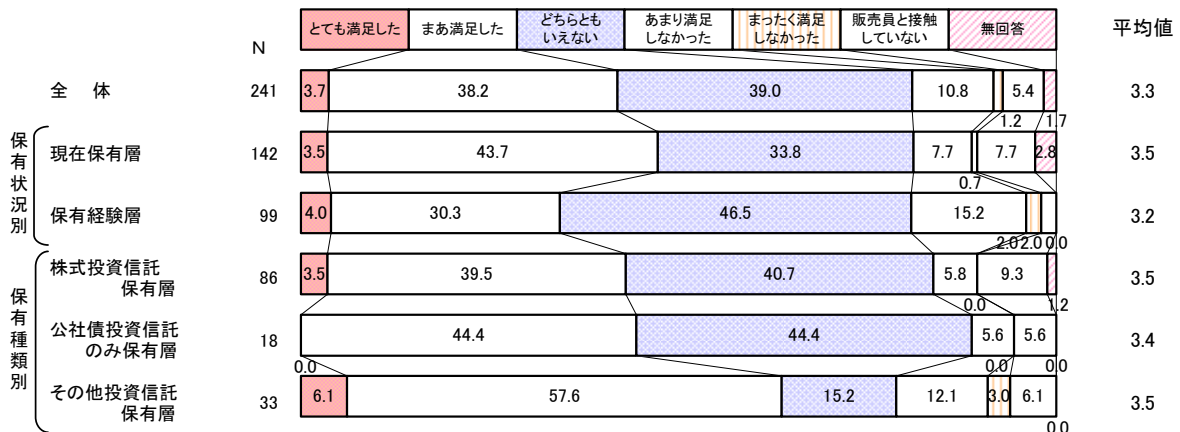
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



問8【販売員の説明・勧誘方法への満足状況(単数回答)】/保有状況・保有種類別

—現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



②販売員の説明・勧誘方法への満足理由(現在保有層・保有経験層のうち説明・勧誘方法満足者)

現在保有層・保有経験層のうち、販売員の説明・勧誘方法に“満足”した人に満足した理由を尋ねたところ、「商品のリスクもきちんと説明した」(66.3%)が最も高い。次いで「商品の魅力をわかりやすく説明した」(41.6%)が高く、「自分のニーズにあった商品を勧めた」(28.7%)や「質問にきちんと答えてくれた」(19.8%)と続く。

時系列でみると、「商品のリスクもきちんと説明した」は前回より16.3ポイント上昇し、前々回の水準に戻った。他の項目では大きな変化はみられない。

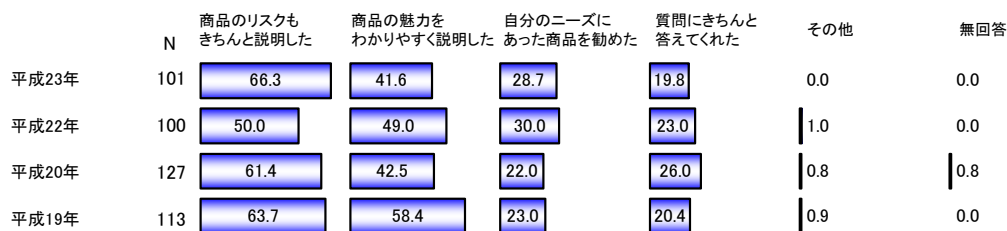
対象者属性別にみると、性別では大きな差はみられない。

地域別では、「質問にきちんと答えてくれた」が首都圏でやや高い。

投資信託保有状況別にみると、「商品のリスクもきちんと説明した」は現在保有層の方が、「質問にきちんと答えてくれた」は保有経験層の方が高くなっている。

問8-1【販売員の説明・勧誘への満足理由(重複回答)／時系列

－現在保有層・保有経験層のうち説明・勧誘方法満足者ベース



問8-1【販売員の説明・勧誘への満足理由(重複回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層のうち説明・勧誘方法満足者ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

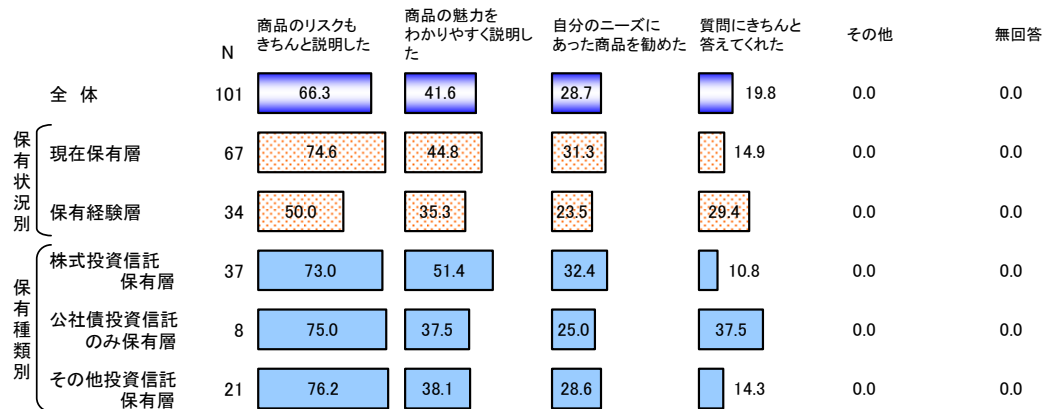
(上段:N)(下段:%)

		全 体	商品のリスク もきちんと 説明した	商品の魅力を わかりやすく 説明した	自分のニーズ にあった商品 を勧めた	質問に きちんと 答えてくれた	その他	無回答
全 体		101	67	42	29	20	-	-
		100.0	66.3	41.6	28.7	19.8	-	-
性別	男 性	43	28	20	12	7	-	-
	女 性	58	39	22	17	13	-	-
		100.0	65.1	46.5	27.9	16.3	-	-
年代別	20代	1	-	1	1	-	-	-
		100.0	-	100.0	100.0	-	-	-
	30代	8	2	4	4	4	-	-
		100.0	25.0	50.0	50.0	50.0	-	-
	40代	18	14	9	3	3	-	-
		100.0	77.8	50.0	16.7	16.7	-	-
	50代	17	14	7	5	2	-	-
	100.0	82.4	41.2	29.4	11.8	-	-	
年 収 別	60代	31	19	10	11	7	-	-
		100.0	61.3	32.3	35.5	22.6	-	-
	70歳以上	26	18	11	5	4	-	-
		100.0	69.2	42.3	19.2	15.4	-	-
年 収 別	100万円未満	22	12	8	6	6	-	-
		100.0	54.5	36.4	27.3	27.3	-	-
	300万円未満	33	23	13	10	6	-	-
		100.0	69.7	39.4	30.3	18.2	-	-
	500万円未満	15	9	8	7	1	-	-
		100.0	60.0	53.3	46.7	6.7	-	-
年 収 別	800万円未満	14	11	5	2	4	-	-
		100.0	78.6	35.7	14.3	28.6	-	-
	1000万円未満	5	4	2	2	-	-	-
		100.0	80.0	40.0	40.0	-	-	-
年 収 別	1000万円以上	4	4	2	1	1	-	-
		100.0	100.0	50.0	25.0	25.0	-	-
地域別	首都圏	66	46	29	17	16	-	-
		100.0	69.7	43.9	25.8	24.2	-	-
地域別	阪神圏	35	21	13	12	4	-	-
		100.0	60.0	37.1	34.3	11.4	-	-

問 8 - 1 【販売員の説明・勧誘への満足理由(重複回答)／保有状況・保有種類別

ー現在保有層・保有経験層のうち説明・勧誘方法満足者ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



③販売員の説明・勧誘方法への不満理由(現在保有層・保有経験層のうち説明・勧誘方法不満者)

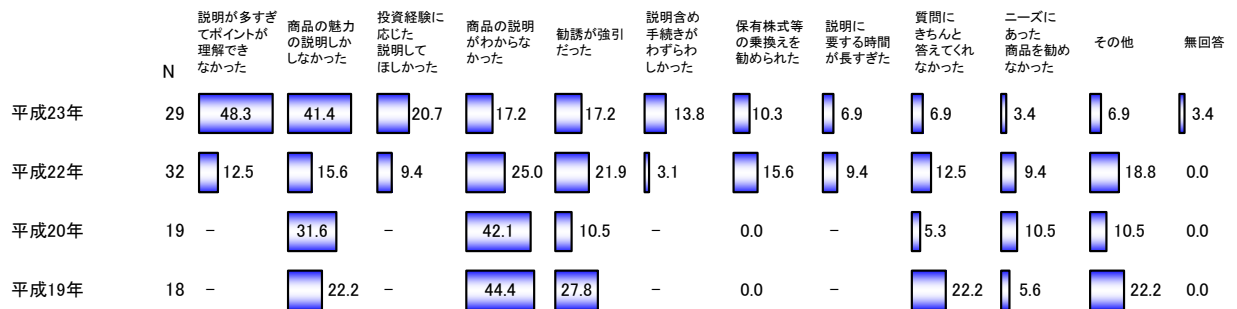
販売員の説明・勧誘方法に“不満”だった人に不満理由を尋ねた。N数(サンプル数)が少ないため参考値ではあるが、「説明が多すぎてポイントが理解できなかった」(48.3%)と「商品の魅力の説明しかなかった」(41.4%)が高く、他の項目を引き離している。

時系列でみると、「説明が多すぎてポイントが理解できなかった」と「商品の魅力の説明しかなかった」は前回よりも高くなっている。

問 8 - 2 【販売員の説明・勧誘への不満理由(重複回答)／時系列

ー現在保有層・保有経験層のうち、説明・勧誘方法不満者ベース】

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



※ 平成22年調査より「説明を受ける事項が多すぎて重要なポイントが理解できなかった」「説明に要する時間が長すぎた」「投資経験に応じた説明をしてほしかった」「説明を含めた手続きがわずらわしかった」を追加。

(3) 投資信託購入の際の重視点／今後の重視点

<購入の際重視した点>

「安全性の高さ」(54.4%)が最も高く、次いで「値上がり期待」(40.7%)、「過去の運用実績」(34.0%)、「過去の分配金額」(25.7%)や「分配頻度の多さ」(23.7%)の順となっている。

時系列でみると、「安全性の高さ」は8.5ポイント上昇している。

対象者属性別でみると、性別では「分配頻度の多さ」が女性で高い。年代別では、年代が上がるにつれて「安全性の高さ」が低下する傾向がみられる他、「値上がり期待」は50代で低く、「換金のしやすさ」は50代と70歳以上でやや高い。

年収別でみると、100万円未満～800万円未満までの層では、「過去の運用実績」が500万円以上800万円未満の層で高い。

地域別では、首都圏で、購入時の重視点については「安全性の高さ」がやや高い。

投資信託保有状況別にみると、現在保有層で「過去の運用実績」「過去の分配金額」「分配頻度の多さ」が、保有経験層では「商品内容のわかりやすさ」が高い。

投資信託保有種類別では、株式投資信託保有層とその他投資信託保有層で顕著な差はみられない。

<今後購入の際に重視したい点>

「安全性の高さ」が65.6%で特に高い。第2位は「値上がり期待」(38.2%)、第3位は「過去の運用実績」(24.5%)で、第3位までの順位は購入時の重視点と変わらないものの、「安全性の高さ」は購入時の重視点より11.2ポイント高く、「過去の運用実績」は9.5ポイント低い。

対象者属性別にみると、男性で「過去の運用実績」が高く、年代別では40代で「値上がり期待」、50代と70歳以上では「換金のしやすさ」がやや高い。

年収別にみると、100万円未満の層で「安全性の高さ」と「過去の運用実績」がやや低い。

地域別にみると、首都圏では「過去の運用実績」がやや高い。

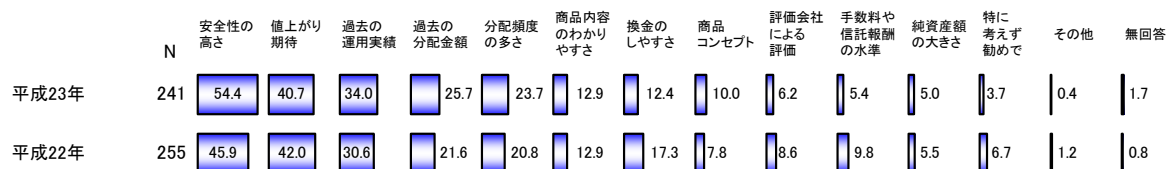
投資信託保有状況別にみると、現在保有層は「値上がり期待」「過去の運用実績」「過去の分配金額」が高く、保有経験層では「安全性の高さ」が高い。

投資信託保有種類別では、購入の際の重視点と同様、株式投資信託保有層とその他投資信託保有層で顕著な差はみられない。

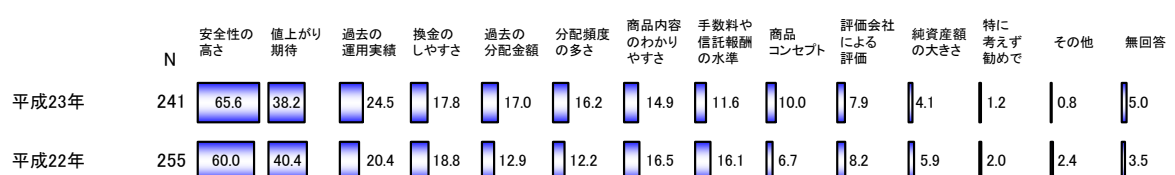
問9①②【投資信託購入の際の重視点&今後重視したい点(重複回答)／時系列

－現在保有層・保有経験層ベース

①購入の際重視した点



②今後購入の際に重視したい点



問9①【投資信託購入の際の重視点(重複回答)】／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。

	N	安全性の高さ	値上がり期待	過去の運用実績	過去の分配金額	分配頻度の多さ	商品内容のわかりやすさ	換金のしやすさ	商品コンセプト	評価会社による評価	手数料や信託報酬の水準	純資産額の大きさ	特に考えず勧めて	その他	無回答
全体	241	54.4	40.7	34.0	25.7	23.7	12.9	12.4	10.0	6.2	5.4	5.0	3.7	0.4	1.7
性別															
男性	114	54.4	44.7	36.8	25.4	18.4	12.3	12.3	8.8	7.0	4.4	7.0	1.8	0.0	2.6
女性	127	54.3	37.0	31.5	26.0	28.3	13.4	12.6	11.0	5.5	6.3	3.1	5.5	0.8	0.8
年代別															
20代	4	25.0	0.0	75.0	50.0	50.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
30代	30	63.3	40.0	36.7	13.3	26.7	10.0	0.0	13.3	3.3	6.7	6.7	3.3	3.3	0.0
40代	34	64.7	44.1	29.4	29.4	26.5	11.8	8.8	8.8	0.0	11.8	2.9	0.0	0.0	0.0
50代	40	60.0	27.5	40.0	32.5	15.0	12.5	22.5	10.0	12.5	5.0	2.5	0.0	0.0	5.0
60代	75	50.7	44.0	34.7	21.3	26.7	13.3	6.7	14.7	5.3	4.0	5.3	4.0	0.0	1.3
70歳以上	58	46.6	46.6	27.6	29.3	20.7	12.1	20.7	3.4	8.6	3.4	5.2	8.6	0.0	1.7
年収別															
100万円未満	48	47.9	39.6	33.3	31.3	27.1	10.4	14.6	10.4	4.2	6.3	8.3	2.1	0.0	2.1
～300万円未満	74	54.1	39.2	31.1	31.1	25.7	10.8	12.2	5.4	6.8	2.7	2.7	2.7	1.4	1.4
～500万円未満	38	47.4	36.8	23.7	15.8	18.4	18.4	18.4	10.5	10.5	0.0	7.9	7.9	0.0	2.6
～800万円未満	39	56.4	41.0	46.2	17.9	20.5	12.8	10.3	12.8	10.3	5.1	5.1	5.1	0.0	2.6
～1000万円未満	14	57.1	50.0	42.9	28.6	35.7	7.1	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
1000万円以上	10	70.0	50.0	50.0	40.0	0.0	10.0	10.0	10.0	0.0	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0
地域別															
首都圏	152	59.2	40.8	35.5	23.0	23.7	14.5	11.8	10.5	7.2	4.6	7.2	3.3	0.7	0.7
阪神圏	89	46.1	40.4	31.5	30.3	23.6	10.1	13.5	9.0	4.5	6.7	1.1	4.5	0.0	3.4

問9①【投資信託購入の際の重視点(重複回答)】／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース

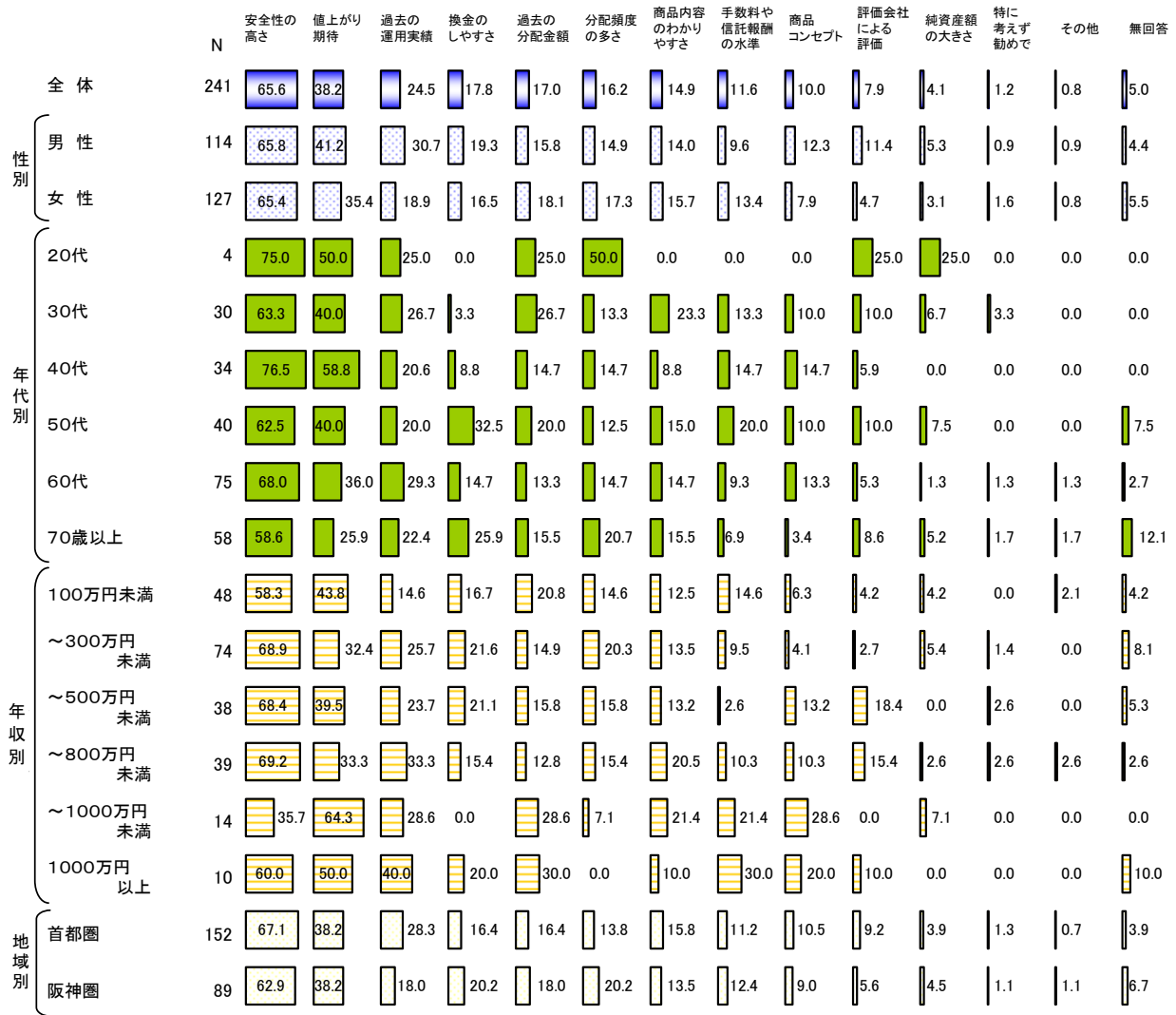
※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。

	N	安全性の高さ	値上がり期待	過去の運用実績	過去の分配金額	分配頻度の多さ	商品内容のわかりやすさ	換金のしやすさ	商品コンセプト	評価会社による評価	手数料や信託報酬の水準	純資産額の大きさ	特に考えず勧めて	その他	無回答
全体	241	54.4	40.7	34.0	25.7	23.7	12.9	12.4	10.0	6.2	5.4	5.0	3.7	0.4	1.7
保有状況別															
現在保有層	142	51.4	40.8	38.0	30.3	29.6	7.7	10.6	10.6	4.2	5.6	4.9	2.8	0.7	2.8
保有経験層	99	58.6	40.4	28.3	19.2	15.2	20.2	15.2	9.1	9.1	5.1	5.1	5.1	0.0	0.0
保有種類別															
株式投資信託保有層	86	50.0	44.2	41.9	30.2	30.2	8.1	10.5	15.1	3.5	7.0	7.0	1.2	0.0	0.0
公社債投資信託のみ保有層	18	61.1	38.9	27.8	38.9	16.7	5.6	11.1	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
その他投資信託保有層	33	54.5	36.4	39.4	27.3	39.4	9.1	12.1	6.1	3.0	0.0	3.0	6.1	3.0	3.0

問9②【投資信託を今後購入する際、重視したい点(重複回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース

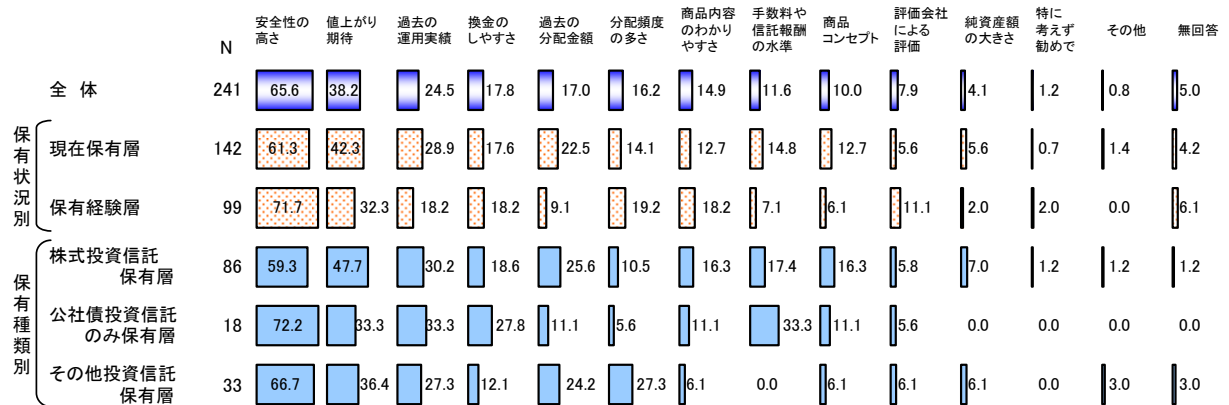
※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



問9②【投資信託を今後購入する際、重視したい点(重複回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



(4) 投資信託の購入資金

投資信託の購入資金は、「定期性の預貯金等から」が 39.8%で特に高く、次いで「月々の収入から」(29.5%)が続く。他にも「ボーナスから」「退職金・相続等の臨時収入から」「株式・債券等を売ったお金」も 10%強みられる。

時系列でみると、「定期性の預貯金等から」は平成 20 年以降、下降傾向がみられる。

対象者属性別にみると、「定期性の預貯金等から」は男性より女性の方が高い。

年代別では、「月々の収入から」は若年層ほど高く、30 代では「定期性の預貯金等から」を大きく上回るが、60 代以上では「定期性の預貯金等から」の方が高い。「退職金・相続等の臨時収入から」は 60 代で高い。

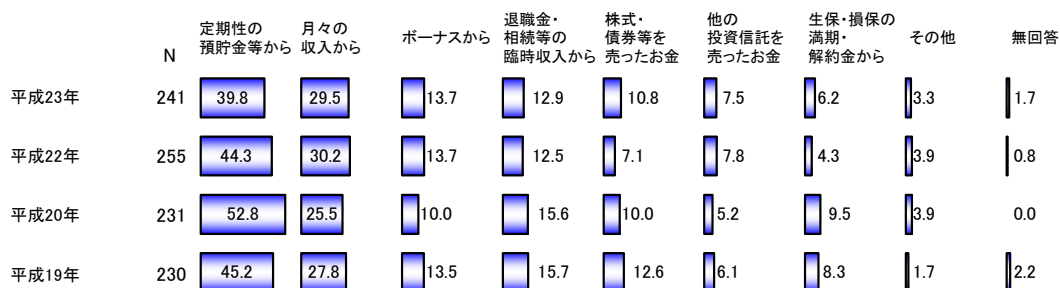
年収別では、年収が“300 万円未満”の層では「定期性の預貯金等から」が「月々の収入から」を上回り、「ボーナスから」はほとんどみられない。それ以上の層では「定期性の預貯金等から」と「月々の収入から」は同程度であり、「ボーナスから」も 20%前後みられる。

地域別では、「ボーナスから」は首都圏の方が阪神圏よりやや高い。

投資信託保有状況別にみると、現在保有層は「定期性の預貯金等から」が「月々の収入から」を上回り、「ボーナスから」は少ないが、保有経験層では「定期性の預貯金等から」と「月々の収入から」が同程度であり、「ボーナスから」も現在保有層に比べて高い。

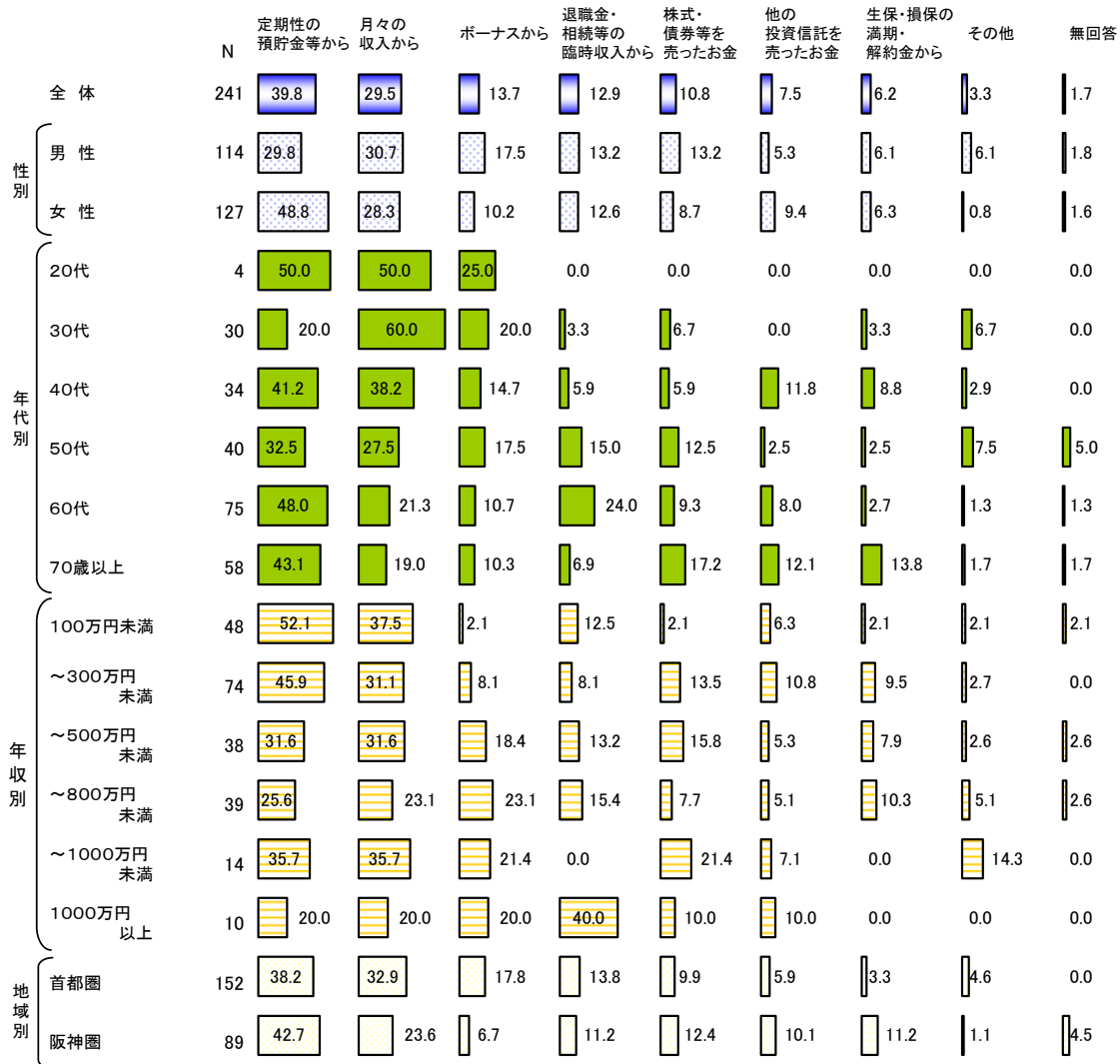
投資信託保有種類別でみると、株式投資信託保有層ではその他の投資信託保有層に比べて「定期性の預貯金等から」が低めであるが、「株式・債券等を売ったお金」や「他の投資信託を売ったお金」等が高めであり、多様な資金を流用している様子がうかがえる。

問 6 【投資信託の購入資金(重複回答)／時系列—現在保有層・保有経験層ベース】



問6【投資信託の購入資金(重複回答)／対象者属性別—現在保有層・保有経験層ベース】

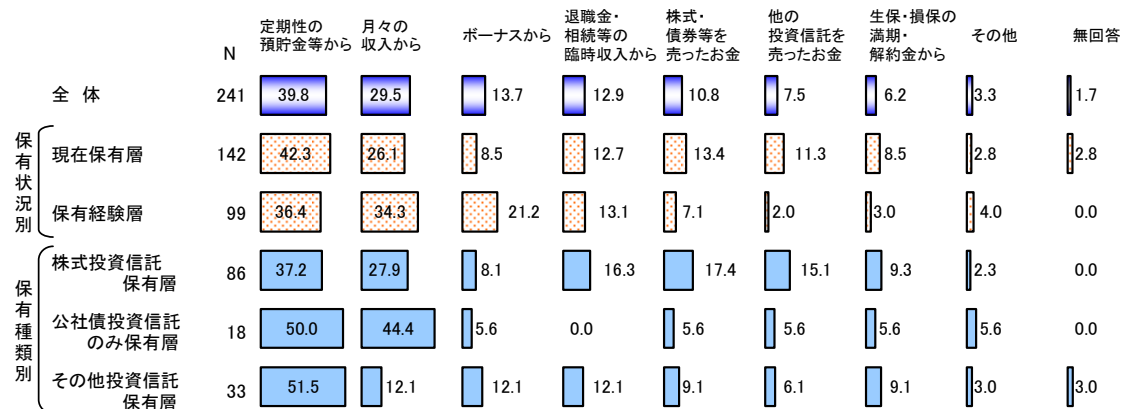
※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



問6【投資信託の購入資金(重複回答)／保有状況・保有種類別

—現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



(5) 投資信託の購入目的

投資信託を購入した目的は、「老後の生活資金」(32.0%)が最も高く、次いで「資産のリスク分散」(24.9%)が高いが、他の目的はいずれも10%未満と低い。なお、「特に目的はないが資金を増やしたいため」も34.9%と高い。

時系列でも、大きな変化はみられない。

対象者属性別にみると、性別では「資産のリスク分散」は男性の方が女性よりやや高い。

年代別では、「老後の生活資金」は年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。40代は他の年代に比べて「資産のリスク分散」は低く、「子供または孫のための教育資金等」や「住宅資金」が高めの点が特徴的である。

年収別では、「資産のリスク分散」は年収が高いほどやや高くなる傾向がみられる。

地域別では、大きな差はみられない。

投資信託保有状況別にみると、現在保有層は保有経験層に比べて「特に目的はないが資金を増やしたいため」が低く、「老後の生活資金」や「資産のリスク分散」等具体的な目的を持って購入した比率が高い。

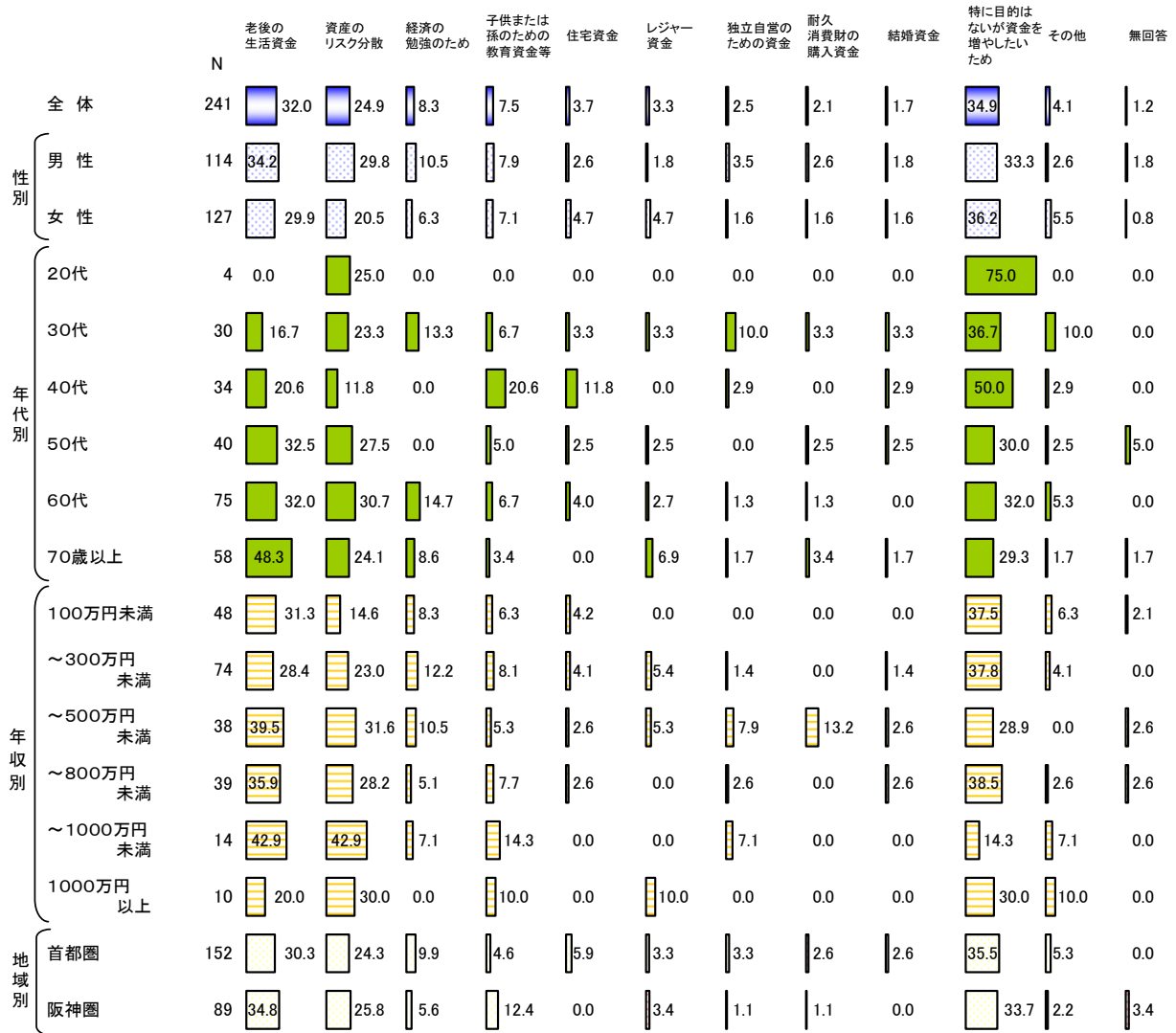
投資信託保有種類別では、株式投資信託保有層はその他投資信託保有層に比べて「資産のリスク分散」が高く、「特に目的はないが資金を増やしたいため」は低い。

問5【投資信託の購入目的(重複回答)】時系列—現在保有層・保有経験層ベース

	N	老後の生活資金	資産のリスク分散	経済の勉強のため	子供または孫のための教育資金等	住宅資金	レジャー資金	独立自営のための資金	耐久消費財の購入資金	結婚資金	特に目的はないが資金を増やしたいため	その他	無回答
平成23年	241	32.0	24.9	8.3	7.5	3.7	3.3	2.5	2.1	1.7	34.9	4.1	1.2
平成22年	255	31.8	21.2	9.0	5.5	4.7	6.7	0.4	1.6	2.0	38.8	6.3	0.4
平成20年	231	34.6	28.1	10.8	6.5	3.0	4.8	1.7	3.5	0.0	35.5	6.9	0.0
平成19年	230	32.2	23.0	10.9	7.0	5.7	4.8	0.4	3.9	1.7	34.3	4.3	2.2

問5【投資信託の購入目的(重複回答)／対象者属性別—現在保有層・保有経験層ベース】

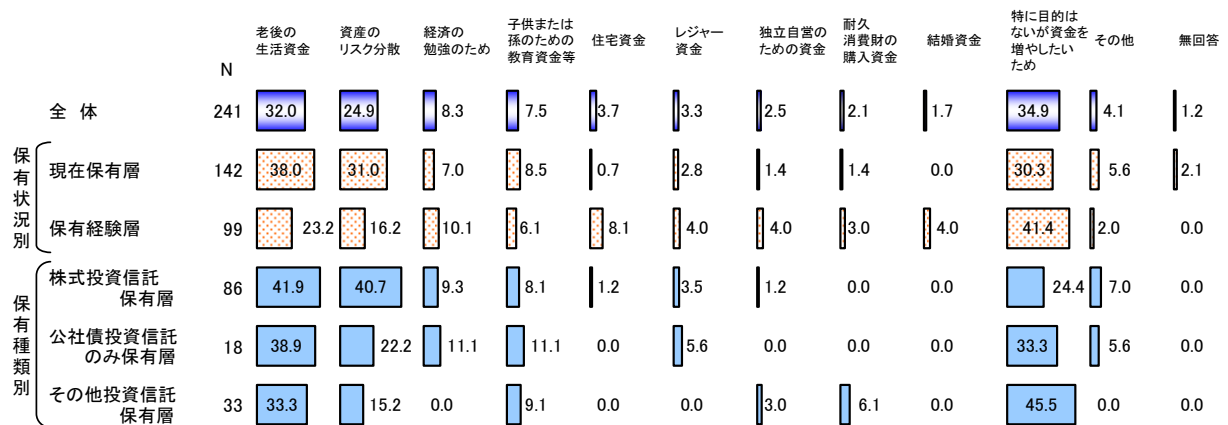
※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



問5【投資信託の購入目的(重複回答)／保有状況・保有種類別

—現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



(6) 投資信託の運用実績評価

投資信託の運用実績評価を尋ねると、「期待した以上だった」は2.5%、「期待通りの実績だった」は13.7%であり、これらを合わせた“期待以上”は16.2%である。一方、「期待していたよりもやや悪かった」は31.1%、「全く期待はずれだった」は27.8%であり、これらを合わせた“期待以下”は58.9%と半数を超え、“期待以上”を大きく上回っている。また、「なんともいえない」と評価を保留した人も23.2%みられる。「期待した以上だった」から「全く期待はずれだった」に、4点から1点の得点を与えて平均値を算出したところ、1.9点となった。

時系列でみると、今回は前回と大きな変化はなく、前回まで続いていた運用実績評価の低下傾向には歯止めがかかったようである。

対象者属性別でみると、性別では大きな差はみられない。

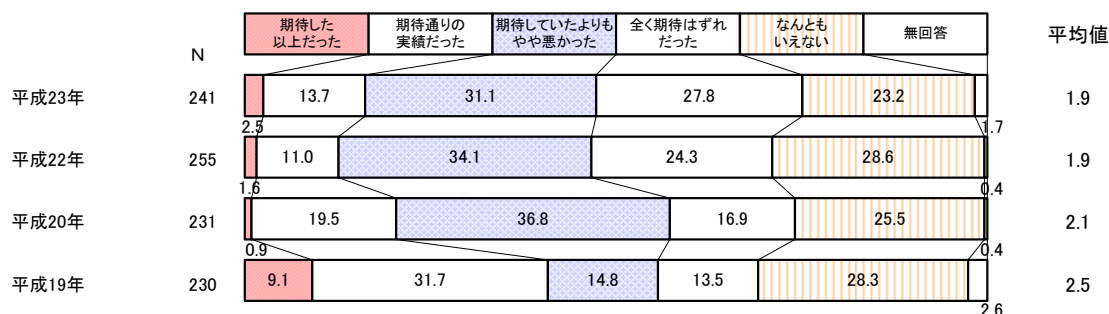
年代別にみると、40代と70歳以上の層で“期待以上”が高いが、60代では低い。平均値でも、期待値が最も高いのは40代と70歳以上、低いのは50～60代である。

年収別では、“期待以上”は100万円未満の層で最も低く、年収が上がるにつれて上昇するが、500万円以上800万円未満の層では低い。平均値でも、最も評価が高いのは300万円以上500万円未満の層である。

投資信託保有状況別でみると、現在保有層に比べて保有経験層では「なんともいえない」が高いが、平均値には大きな差はみられない。

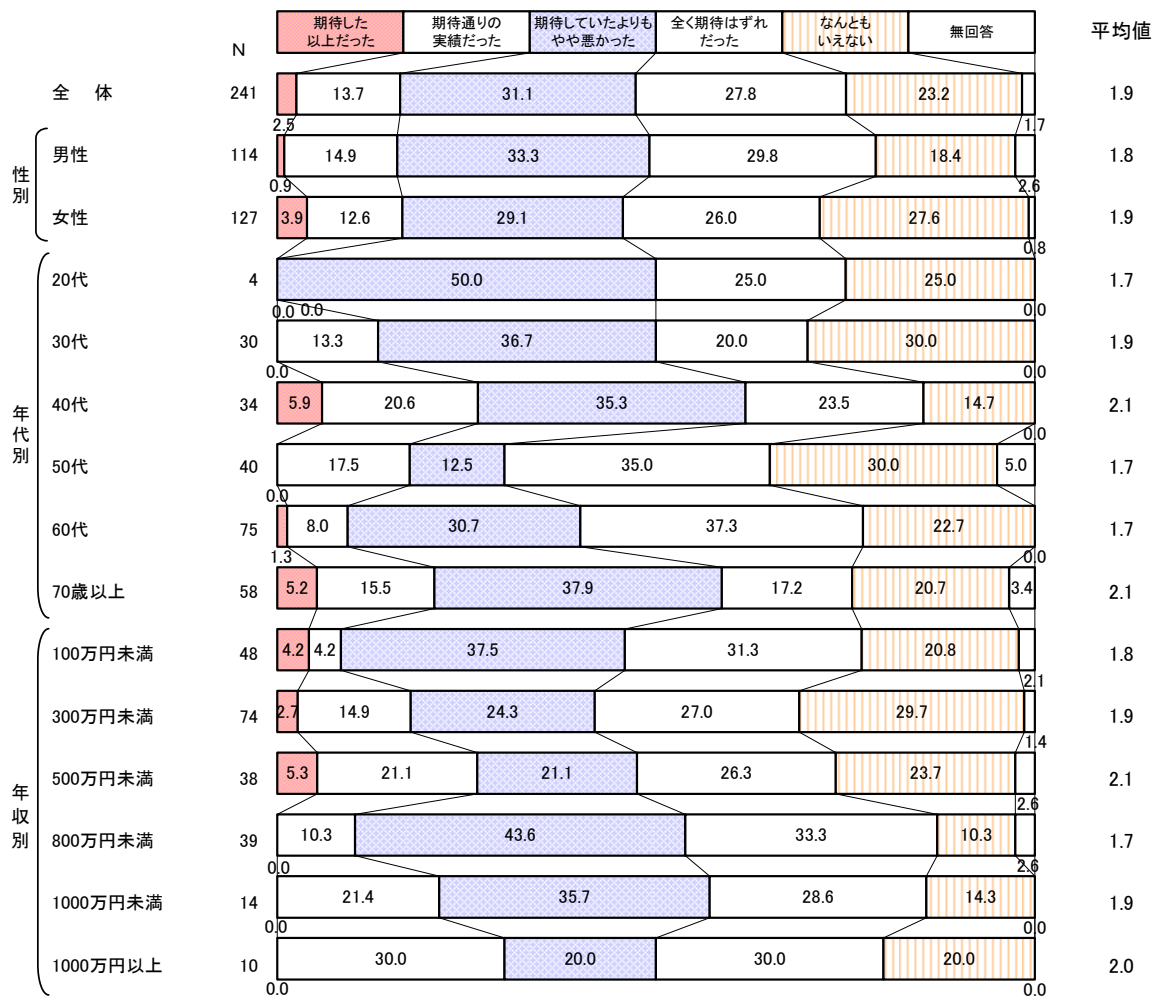
投資信託保有種類別でみると、株式投資信託保有層は「なんともいえない」は低い。その他投資信託保有層は“期待以上”の評価がやや高く、平均値は株式投資信託保有層に比べて高めとなっている。

問 13【投資信託の運用実績評価(単数回答)／時系列－現在保有層・保有経験層ベース】



問 13【投資信託の運用実績評価(単数回答)／対象者属性別—現在保有層・保有経験層ベース】

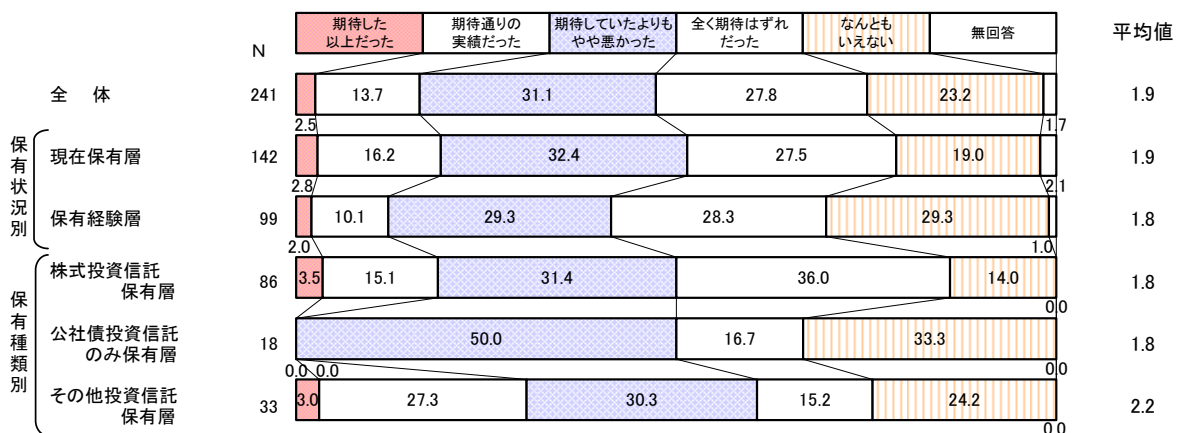
※N数(サンプル数)が少ないため、データをみる際に注意が必要。



問 13【投資信託の運用実績評価(単数回答)／保有状況・保有種類別

—現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ないため、データをみる際に注意が必要。



(7) 償還・売却資金の流出先

投資信託の償還あるいは売却した資金の流出先は、「預貯金にまわした」が40.7%で最も高い。次いで「生活資金にまわした」(18.7%)、「他の投資信託を購入した」(15.4%)、「株式・債券を購入した」(12.0%)、「金融商品以外の商品の購入にあてた」(9.1%)の順となっている。

時系列でみると、「生活資金にまわした」は前回までは微増傾向がみられたが、今回は前回より7.2ポイント低下した。

対象者属性別にみると、性別では、女性は男性より「預貯金にまわした」が高い。

年代別では、「預貯金にまわした」率は30代や60代以上の高年齢層ではいずれも4割以上と高く、特に30代ではこれと「生活資金にまわした」以外の流出先はごくわずかに過ぎない。一方、40～50代では「預貯金にまわした」率は3割台とやや低く、また50代は「株式・債券等を購入した」率が他の年代に比べて高めである。「生活資金にまわした」のは60代が最も低い。

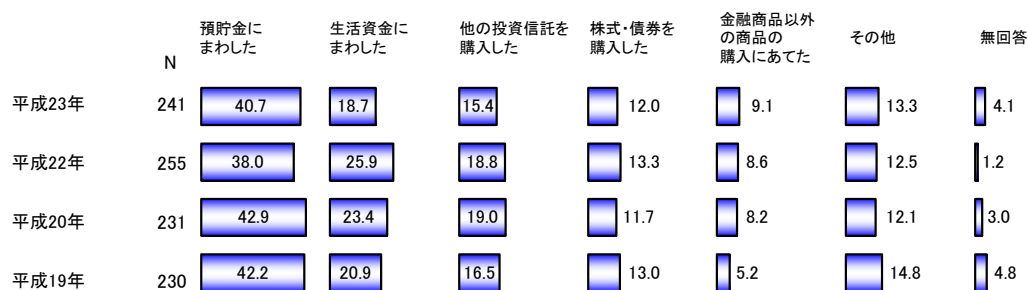
年収別では、「預貯金にまわした」率は“300万円未満”の層の方が“300万円以上800万円未満”の層より高い。「他の投資信託を購入した」のは500万円以上800万円未満の層で高い。

地域別では、大きな差はみられない。

投資信託保有状況別にみると、「他の投資信託を購入した」「株式・債券を購入した」は現在保有層の方が高い。保有経験層は「預貯金にまわした」が圧倒的に高く、現在保有層に比べると流出先のバラエティは少なめである。

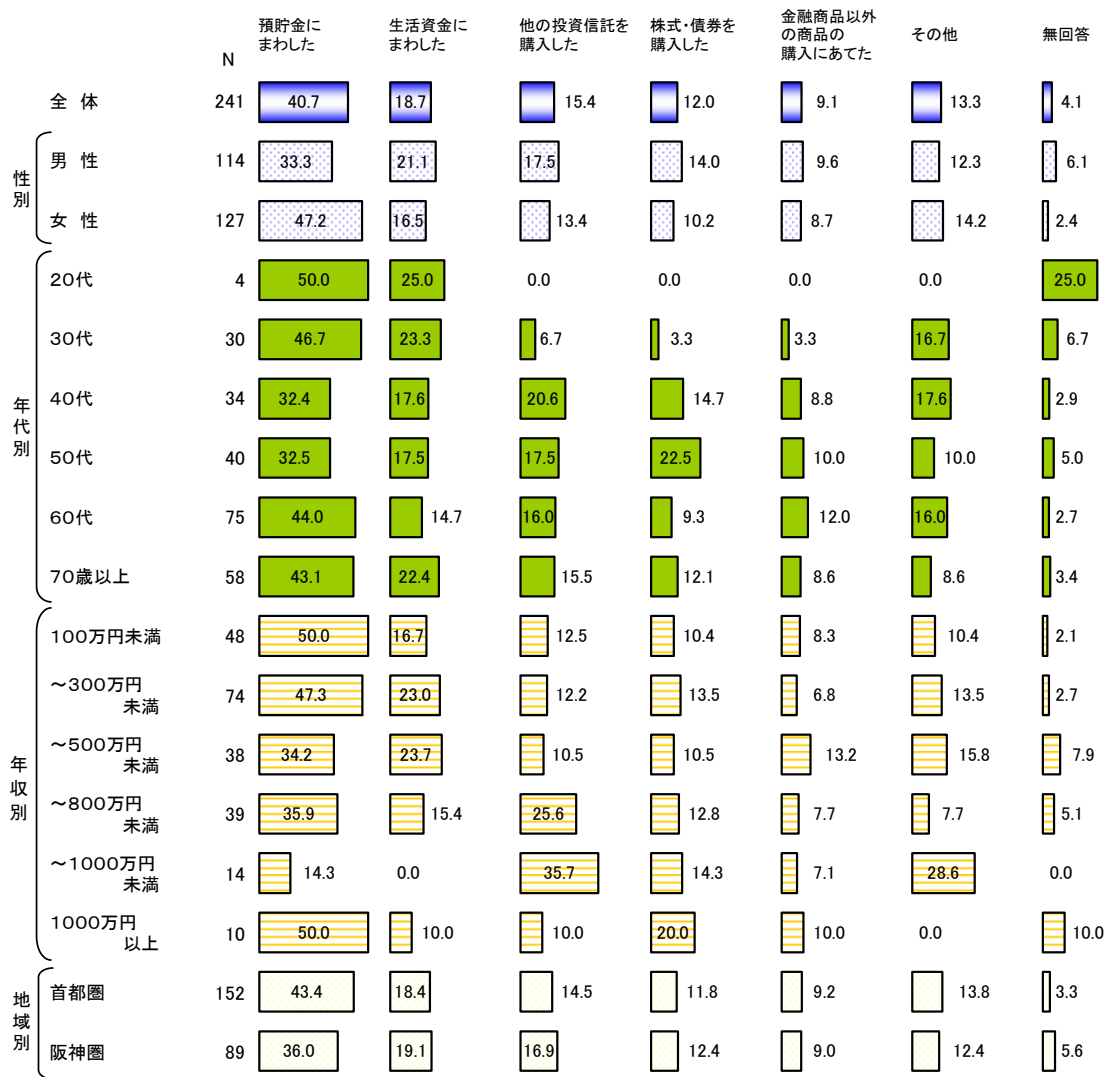
投資信託保有種類別にみると、株式投資信託保有層は「他の投資信託を購入した」や「株式・債券を購入した」が高く、引き続き金融資産として還流させている人が多いことがうかがえる。

問14【償還・売却資金の流出先(重複回答)】／時系列—現在保有層・保有経験層ベース



問 14 【償還・売却資金の流出先(重複回答)／対象者属性別—現在保有層・保有経験層ベース】

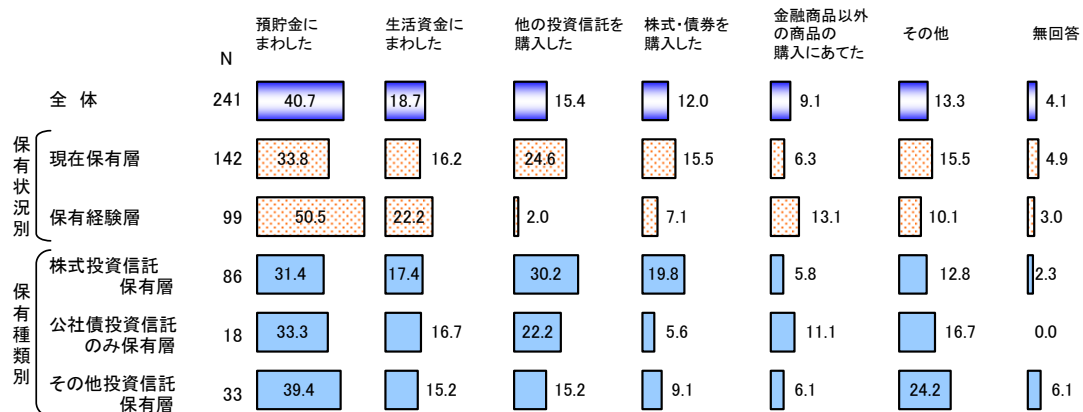
※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



問 14 【償還・売却資金の流出先(重複回答)／保有状況・保有種類別

—現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



(8) 分配金の特徴認知状況

投資信託の『分配金』の特徴については、「運用成績によって変動する」の認知率が最も高く、82.2%と多くの人を知っている。「成績不良時には支払われない場合がある」(58.5%)や「決算ごとに支払われる」(46.9%)についてもほぼ半数が認知している。一方、「支払われた額だけ基準価額が下がる」ことを認知しているのは17.4%にとどまる。

時系列でみると、「成績不良時には支払われない場合がある」は9.5ポイント、「運用成績によって変動する」は7.7ポイント上昇した。

対象者属性別でみると、性別では、「成績不良時には支払われない場合がある」は男性の方が女性より高い。

年代別にみると、「成績不良時には支払われない場合がある」や「決算ごとに支払われる」は30代で最も高く、年代が上がるほど低下する傾向がみられる。「支払われた額だけ基準価額が下がる」は50代が最も低い。

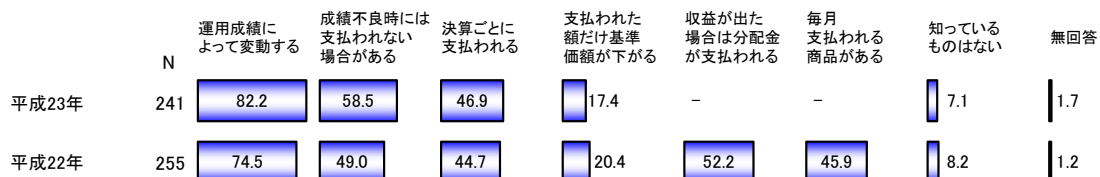
年収別では、100万円以上300万円未満の層は他の層に比べて「成績不良時には支払われない場合がある」は低いが、「決算ごとに支払われる」はやや高い。

地域別では、「決算ごとに支払われる」は阪神圏に比べて首都圏の方が高い。

投資信託保有状況別にみると、現在保有層は保有経験層に比べて「運用成績によって変動する」や「支払われた額だけ基準価額が下がる」が高く、現在保有層の方が『分配金』について多様な面を認知しているようである。

投資信託保有種類別にみると、株式投資信託保有層はその他投資信託保有層に比べて「成績不良時には支払われない場合がある」や「決算ごとに支払われる」がやや高い。

問10【「分配金」の特徴認知状況(重複回答)／時系列—現在保有層・保有経験層ベース】

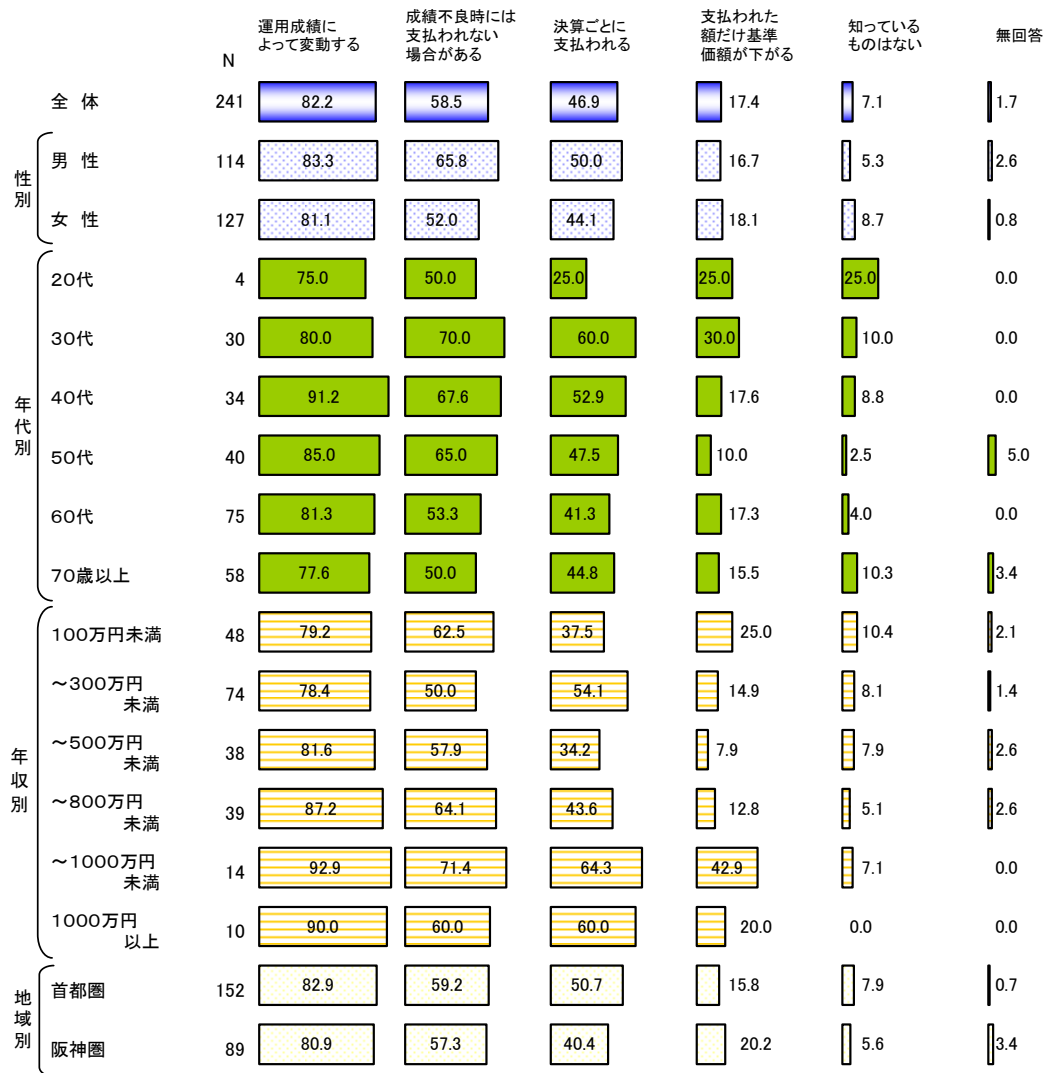


※ 今回より「収益が出た場合は分配金が支払われる」「毎月支払われる商品がある」を削除。

問 10【「分配金」の特徴認知状況(重複回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース】

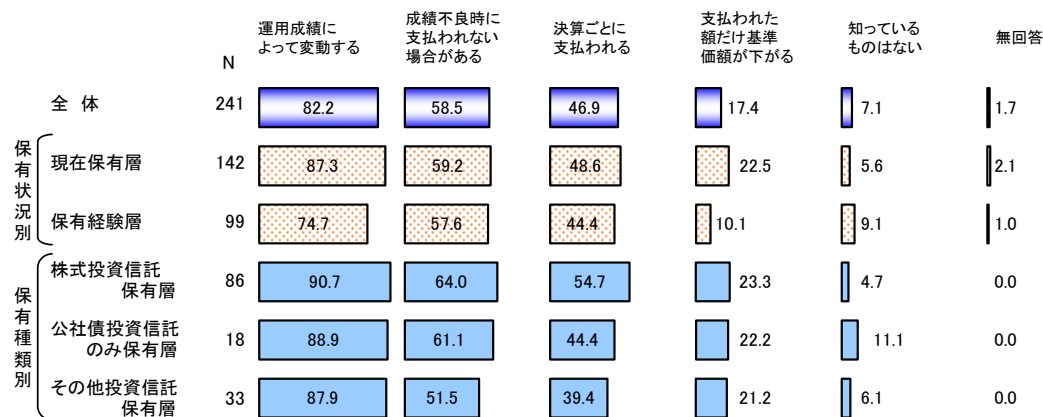
※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



問 10【「分配金」の特徴認知状況(重複回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



(9)運用報告書閲読状況

①運用報告書閲読経験

運用報告書の閲読経験については、「全部読んだ」は2.5%と少ないながらも、「必要と思われる項目を読んだ」が50.6%であり、これらを合わせた“閲読経験率”は53.1%である。これに対し、「読んだことはない」は45.6%であり、半数近くが目を通していない。

時系列では項目が変わったため、前回までの“閲読経験率(「読んだことがある」のみ)”と今回の“閲読経験率(「全部読んだ」と「必要と思われる項目を読んだ」の和)”と比べると、平成20年以降わずかながら下降傾向がみられる。

対象者属性別でみると、性別では“閲読経験率”に大きな差はみられない。

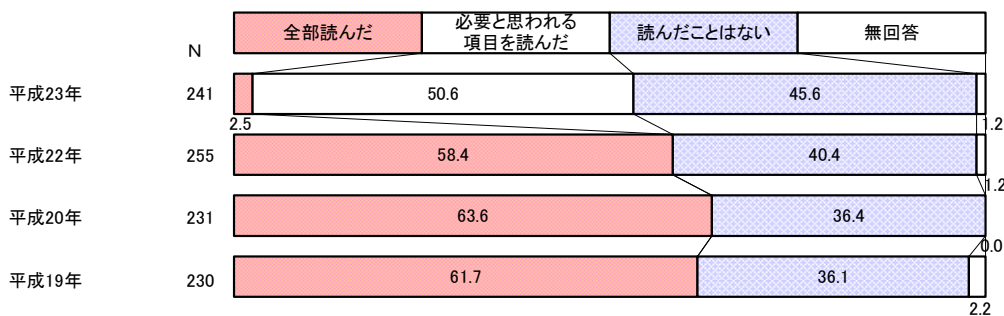
年代別では、“閲読経験率”は50代で最も低く、30代もやや低い。

年収別では、“800万円未満”の層では“閲読経験率”に大きな差はみられない。

投資信託保有状況別では、“閲読経験率”は 現在保有層と保有経験層に大きな差はみられない。

投資信託保有種類別でも、株式投資信託保有層とその他投資信託保有層では“閲読経験率”に大きな差はみられない。

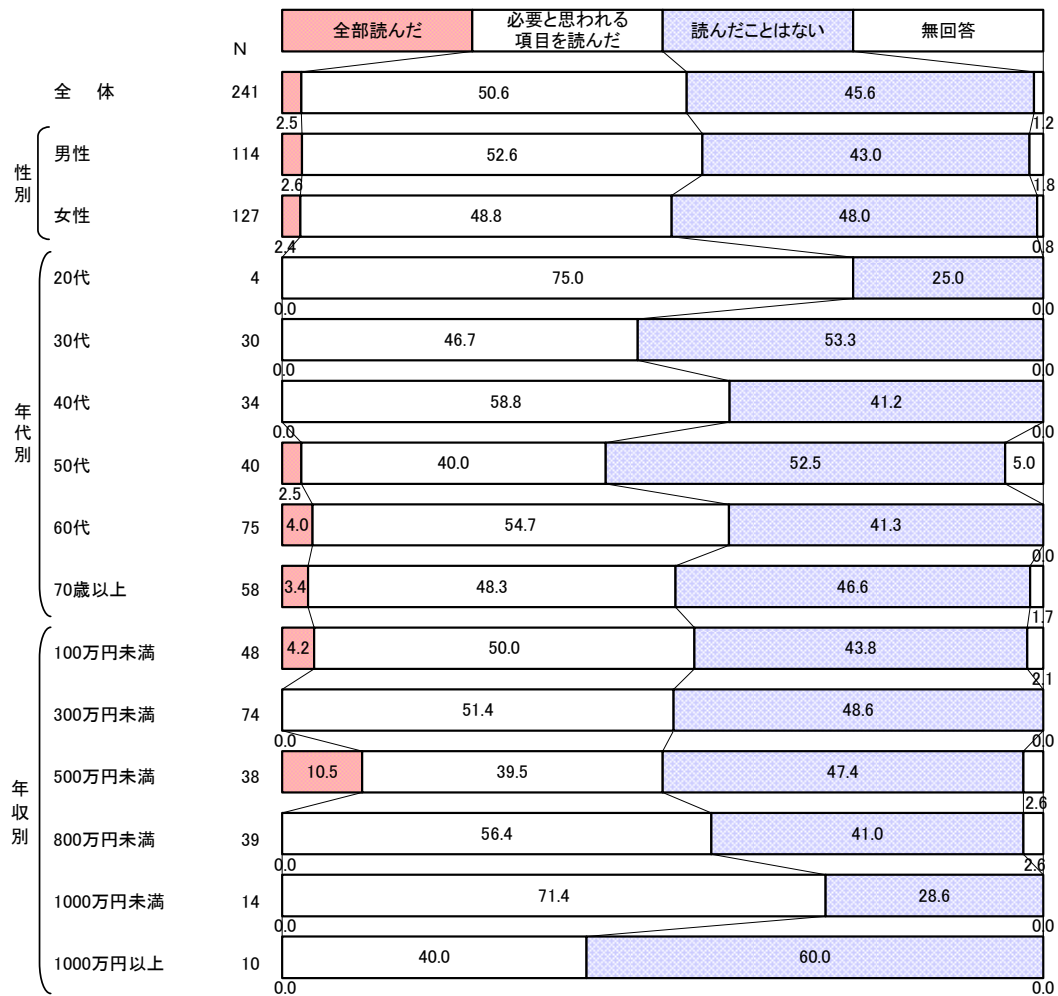
問 11【運用報告書閲読経験(単数回答)／時系列—現在保有層・保有経験層ベース】



※ 今回より「必要と思われる項目を読んだ」を追加。
「全部読んだ」は、平成22年以前は「読んだことがある」で調査。

問 11 【運用報告書閲読経験(単数回答)／対象者属性別—現在保有層・保有経験層ベース】

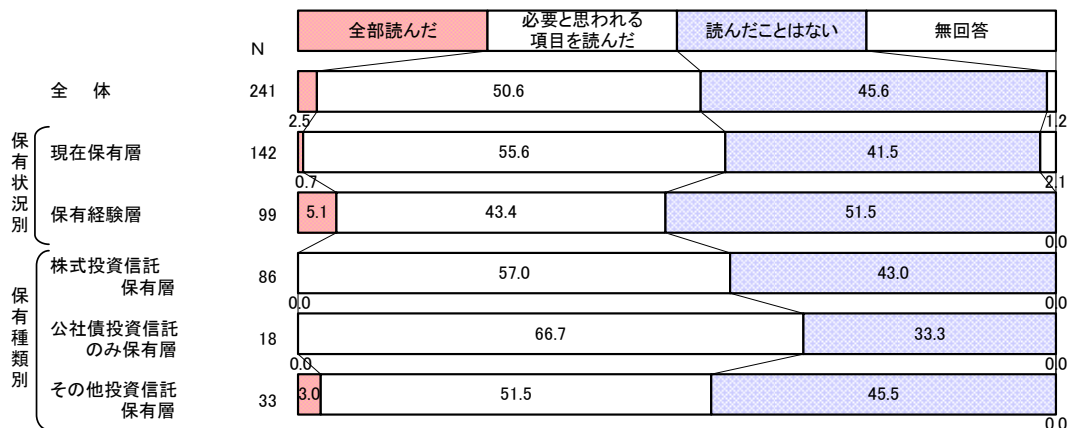
※N数(サンプル数)が少ないため、データをみる際に注意が必要。



問 11 【運用報告書閲読経験(単数回答)／保有状況・保有種類別

—現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ないため、データをみる際に注意が必要。



②運用報告書理解状況(現在保有層・保有経験層のうち運用報告書閲覧経験者)

運用報告書閲覧経験者に運用報告書の理解状況を尋ねたところ、「よく理解できた」のは0.8%のみであるが、「まあまあ理解できた」(57.0%)と合わせた“理解層”は57.8%と過半数を占める。一方、「よくわからなかった」(39.8%)と「全くわからなかった」(1.6%)を合わせた“非理解層”も41.4%みられる。「よく理解できた」から「全くわからなかった」まで、4点から1点の得点を与えて平均値を算出したところ、2.6点となった。

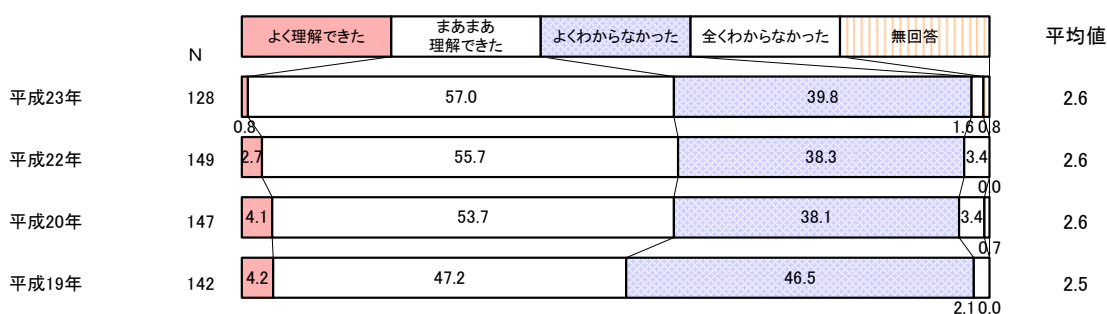
時系列でも、“理解層”比率には平成20年以降大きな変化はみられない。

対象者属性別については、女性より男性の方が“理解層”比率はやや高い。

投資信託保有状況別では、現在保有層と保有経験層の“理解層”比率に大きな差はみられない。

問 11-1【運用報告書理解状況(単数回答)】時系列

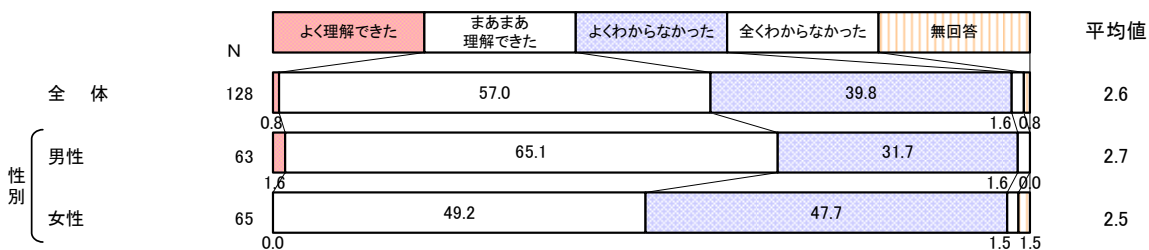
—現在保有層・保有経験層のうち運用報告書閲覧経験者ベース



問 11-1【運用報告書理解状況(単数回答)】対象者属性別

—現在保有層・保有経験層保有経験層のうち運用報告書閲覧経験者ベース

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



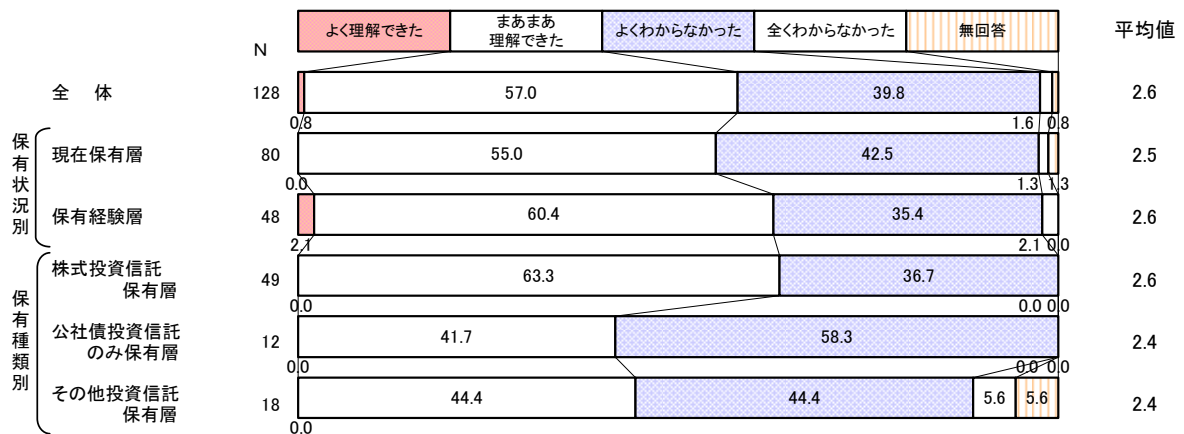
(上段:N)(下段:%)

	全体	よく理解できた	まあまあ理解できた	よくわからなかった	全くわからなかった	無回答	平均値	
全体	128	1	73	51	2	1	2.6	
	100.0	0.8	57.0	39.8	1.6	0.8		
年代別	20代	3	-	1	2	-	-	
		100.0	-	33.3	66.7	-	-	2.3
	30代	14	1	7	6	-	-	
		100.0	7.1	50.0	42.9	-	-	2.6
	40代	20	-	10	9	-	1	
		100.0	-	50.0	45.0	-	5.0	2.5
	50代	17	-	9	8	-	-	
	100.0	-	52.9	47.1	-	-	2.5	
60代	44	-	25	17	2	-		
	100.0	-	56.8	38.6	4.5	-	2.5	
70歳以上	30	-	21	9	-	-		
	100.0	-	70.0	30.0	-	-	2.7	
年収別	100万円未満	26	-	12	13	1	-	
		100.0	-	46.2	50.0	3.8	-	2.4
	300万円未満	38	-	23	14	1	-	
		100.0	-	60.5	36.8	2.6	-	2.6
	500万円未満	19	-	12	7	-	-	
		100.0	-	63.2	36.8	-	-	2.6
	800万円未満	22	-	11	10	-	1	
	100.0	-	50.0	45.5	-	4.5	2.5	
1000万円未満	10	1	7	2	-	-		
	100.0	10.0	70.0	20.0	-	-	2.9	
1000万円以上	4	-	3	1	-	-		
	100.0	-	75.0	25.0	-	-	2.8	

問 11-1 【運用報告書理解状況(単数回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層のうち運用報告書読経験者ベース】

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



③運用報告書未読理由(現在保有層・保有経験層のうち運用報告書閲読未経験者)

運用報告書閲読未経験者に、読んだことがない理由を尋ねたところ、「内容が多すぎて読む気にならなかったのが」50.9%と半数を占めて最も高い。次いで「難しそうだったので」(22.7%)、「特に興味もなかったのが」(20.9%)の順となっている。「重要な箇所がわからなかった」は3.6%に過ぎない。

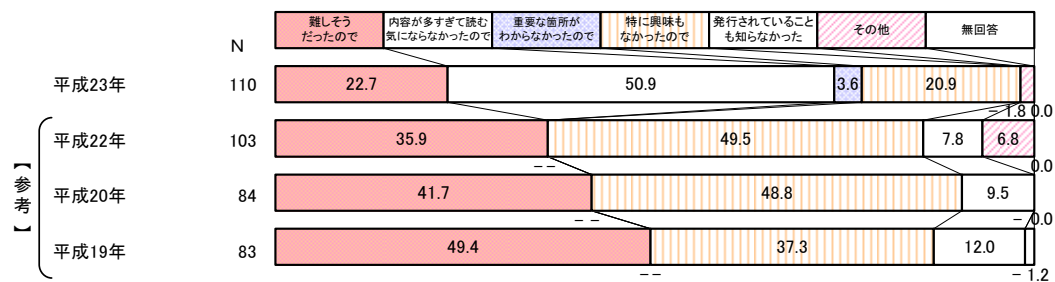
時系列比較は、項目を大きく変更したため、参考データとして掲載するにとどめる。

対象者属性別でみると、性別では大きな差はみられない。

投資信託保有状況別では、「内容が多すぎて読む気にならない」は現在保有層の方が保有経験層より高い。

問 11-2【運用報告書未読理由(単数回答)】時系列

ー現在保有層・保有経験層のうち運用報告書閲読未経験者ベース

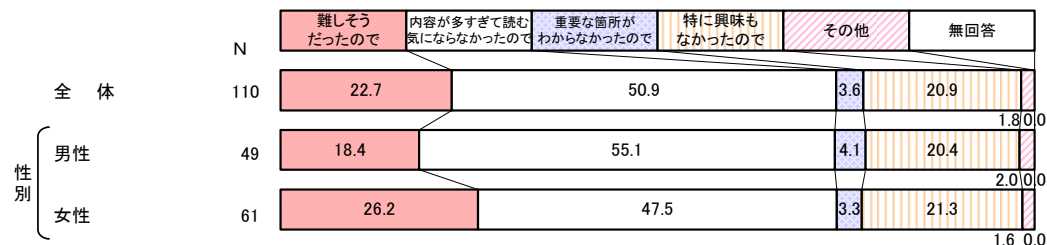


※ 今回より「内容が多すぎて読む気にならないので」「重要な箇所がわからなかったのが」を追加し、「発行されていることも知らなかったのが」を削除。

問 11-2【運用報告書未読理由(単数回答)】対象者属性別

ー現在保有層・保有経験層のうち運用報告書閲読未経験者ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



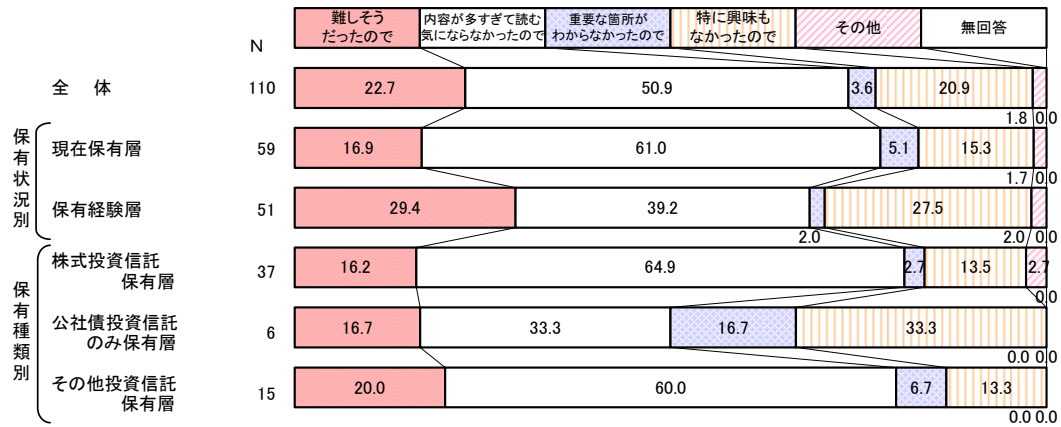
(上段:N)(下段:%)

	全体	難しそうだったので	内容が多すぎて読む気にならなかったのが	重要な箇所がわからなかったのが	特に興味もなかったのが	その他	無回答
全体	110	25	56	4	23	2	-
	100.0	22.7	50.9	3.6	20.9	1.8	-
年代別	20代	1	1	-	-	-	-
		100.0	100.0	-	-	-	-
	30代	16	5	7	2	2	-
		100.0	31.3	43.8	12.5	12.5	-
	40代	14	4	7	-	2	1
		100.0	28.6	50.0	-	14.3	7.1
	50代	21	3	10	1	7	-
	100.0	14.3	47.6	4.8	33.3	-	
60代	31	7	18	-	6	-	
	100.0	22.6	58.1	-	19.4	-	
70歳以上	27	5	14	1	6	1	
	100.0	18.5	51.9	3.7	22.2	3.7	
年収別	100万円未満	21	4	14	1	2	-
		100.0	19.0	66.7	4.8	9.5	-
	300万円未満	36	8	18	-	8	2
		100.0	22.2	50.0	-	22.2	5.6
	500万円未満	18	4	8	-	6	-
		100.0	22.2	44.4	-	33.3	-
800万円未満	16	2	9	2	3	-	
	100.0	12.5	56.3	12.5	18.8	-	
1000万円未満	4	2	2	-	-	-	
	100.0	50.0	50.0	-	-	-	
1000万円以上	6	1	4	-	1	-	
	100.0	16.7	66.7	-	16.7	-	

問 11-2 【運用報告書未読理由(単数回答)／保有状況・保有種類別

ー現在保有層・保有経験層のうち運用報告書読読未経験者ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



④運用報告書の分量程度

運用報告書の閲読の有無に関わらず、投資信託の現在保有者および保有経験者に対し、運用報告書の分量はどの程度が適当か尋ねたところ、「4ページ程度」が37.8%で最も高く、次いで「8ページ程度」が27.4%で続き、できるだけ少ないページ数を希望している人が多い。「読んだことがないのでわからない」も18.7%みられる。

対象者属性別でみると、性別では、大きな差はみられない。

年代別では、「4ページ程度」と少ない分量を希望する率は年代が上がるほど高くなり、60代では46.7%と半数近くを占めている。

年収別では、明確な傾向はみられない。

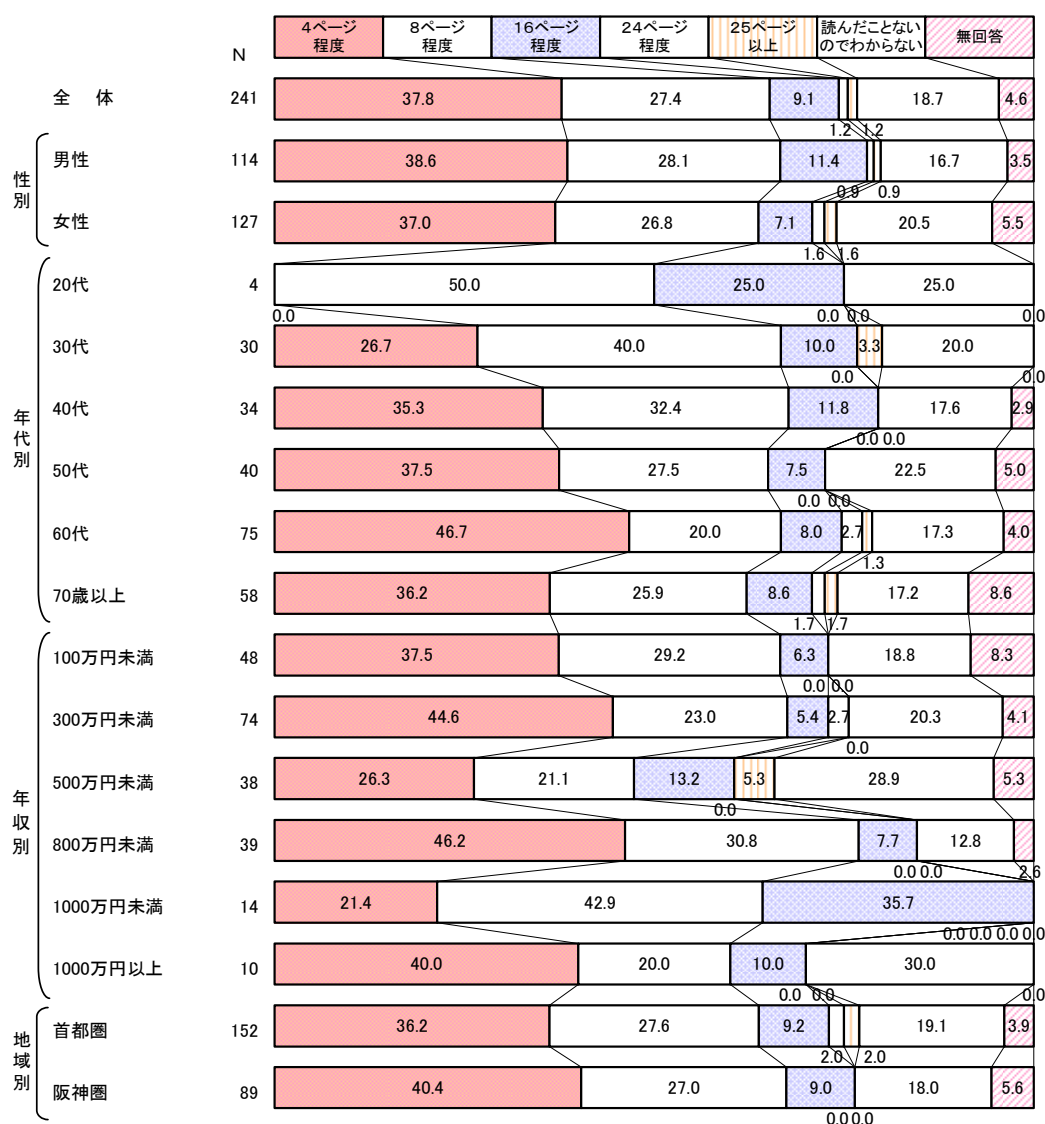
地域別でも大きな差はみられない。

投資信託保有状況別にみると、現在保有層は保有経験層に比べて「読んだことがないのでわからない」が低いですが、分量としては、より少ないページ数を希望する率が高めである。

投資信託保有種類別では、株式投資信託保有層に比べてその他投資信託保有層はより少ないページ数を希望する率がやや高い。

問12【運用報告書の分量程度(単数回答)／対象者属性別—現在保有層・保有経験層ベース】

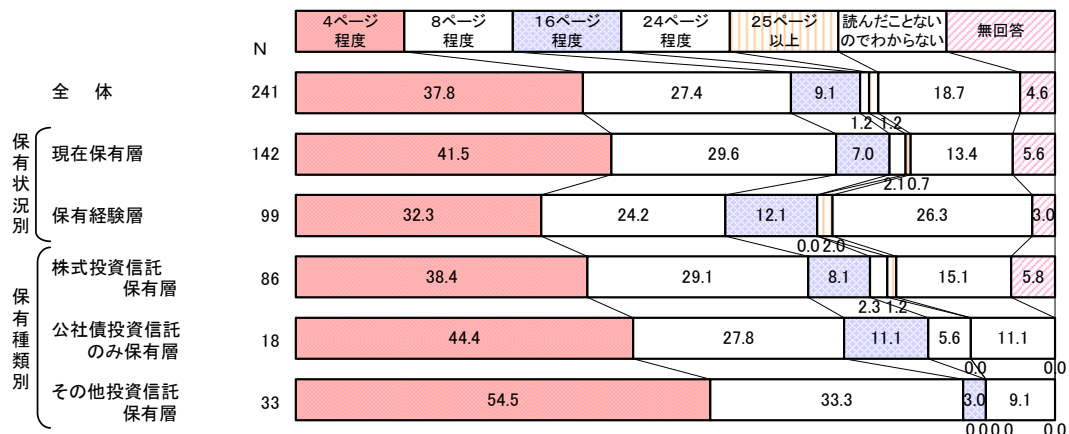
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



問 12【運用報告書の分量程度(単数回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



(10) 評価会社による運用評価の認知・利用状況

評価会社による運用評価については、「評価会社の評価を参考に購入したことがある」は6.2%にとどまるが、「評価会社の評価を見たことがある」は37.8%であり、両者を合わせた“認知率”は44.0%である。一方、「評価会社があること自体知らなかった」は53.1%と半数以上を占める。

時系列では、特に大きな変化はみられない。

対象者属性別でみると、性別では“認知率”には大きな差はみられない。

年代別では、30代の“認知率”が特に高い。

年収別では、“300万円未満”の層より、“300万円以上800万円未満”の層で“認知率”が高い。

投資信託保有状況別では、現在保有層と保有経験層の“認知率”に大きな差はみられない。

投資信託保有種類別では、株式投資信託保有層は他層に比べて“認知率”が高い。

問 15【評価会社による運用評価の認知・利用状況(単数回答)／時系列

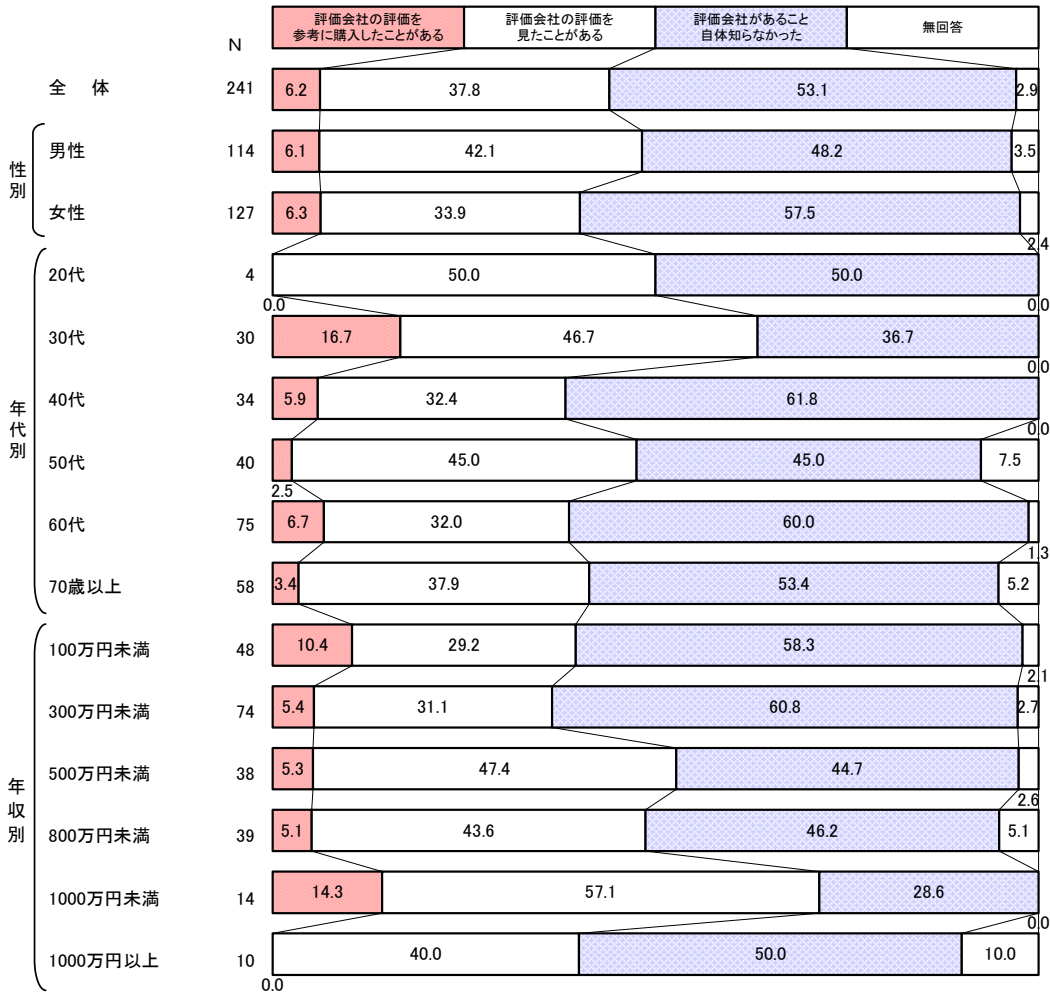
－現在保有層・保有経験層ベース】

		評価会社の評価を参考に購入したことがある	評価会社の評価を見たことがある	評価会社があること自体知らなかった	無回答
N					
平成23年	241	6.2	37.8	53.1	2.9
平成22年	255	7.5	39.2	51.0	1.1
平成20年	231	3.9	39.4	55.4	2.4
平成19年	230	5.2	38.3	52.6	3.9

問 15【評価会社による運用評価の認知・利用状況(単数回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース】

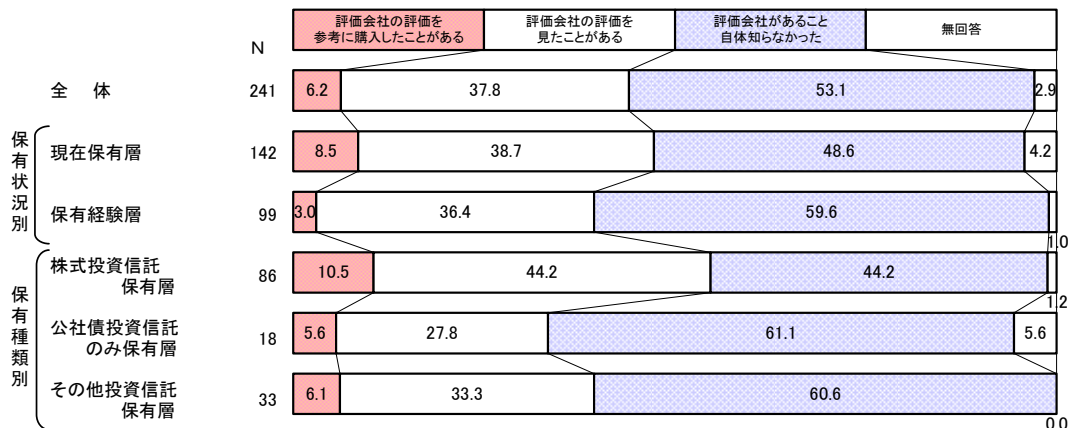
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



問 15【評価会社による運用評価の認知・利用状況(単数回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



(11) 投資信託会社のホームページ利用経験

投資信託等の情報を得るために投資信託会社のホームページを「よく利用する」のは 4.1%、「たまに利用する」は 16.2%であり、両者を合わせた“HP利用率”は 20.3%である。一方、「利用したことはない」は 78.0%と大半を占める。

時系列でも、大きな変化はみられない。

対象者属性別で見ると、性別では、“HP利用率”には大きな差はみられない。

年代別で見ると“HP利用率”は年代ごとの差が大きく、30代では40%近くを占めるが、年代が上がるにつれて低下し、70歳以上では10%に満たない。

年収別では、“HP利用率”は“800万円未満”の各層には大きな差はみられない。

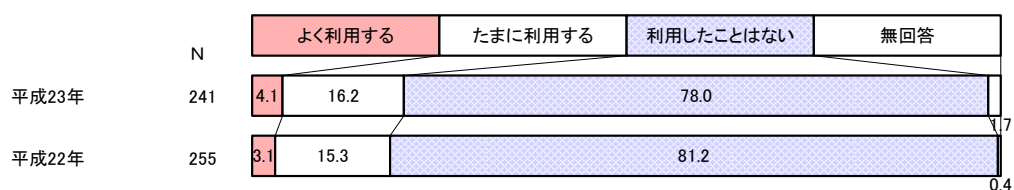
地域別では、首都圏と阪神圏で“HP利用率”に差はみられない。

投資信託保有状況別については、現在保有層は保有経験層より“HP利用率”が高い。

投資信託保有種類別では、株式投資信託保有層の“HP利用率”はその他投資信託保有層に比べて高い。

問 16 【投資信託会社のホームページ利用経験(単数回答)／時系列

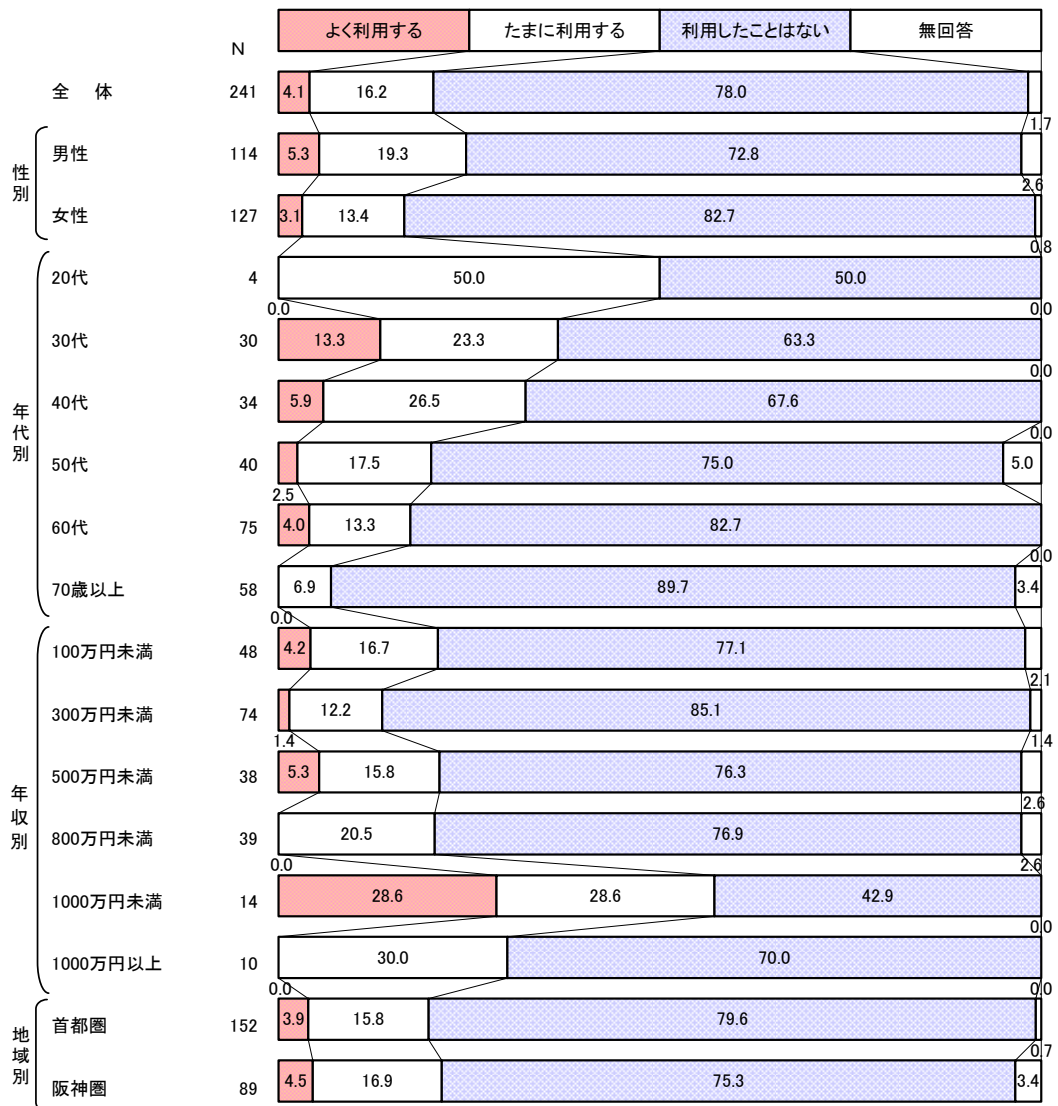
－現在保有層・保有経験層ベース



問 16 【投資信託会社のホームページ利用経験(単数回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース】

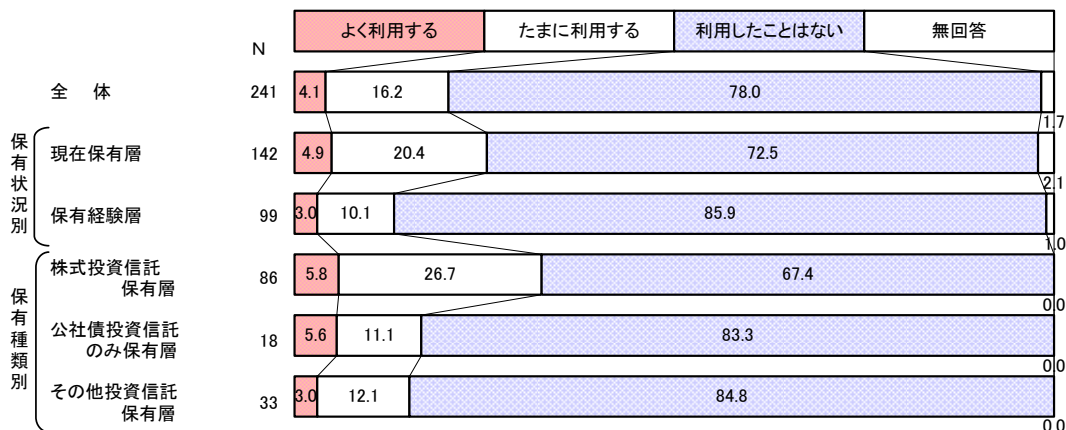
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



問 16 【投資信託会社のホームページ利用経験(単数回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



(12) 投資信託の優れていると感じる点

他の金融商品と比較して投資信託が優れている点(重複回答)は、「定期的に分配金が受け取れる」(43.6%)と「専門知識がなくても投資ができる」(40.2%)が特に高く、「比較的高い利回りが期待できる」(33.6%)、「少額でも株式投資の面白味がある」(29.0%)、「少額でも分散投資ができる」(28.2%)、「購入手続きが簡単である」(26.6%)と続き、それ以外は20%未満と低い。

時系列でみると、「専門知識がなくても投資ができる」と「比較的高い利回りが期待できる」は過去4年間でみると低下傾向が続いている。また、「種類が豊富で目的に応じて選べる」は前回調査より半減している。

対象者属性別にみると、性別では、男性の方が女性より高い項目が多く、中でも「少額でも株式投資の面白味がある」と「少額でも分散投資ができる」は差が大きい。

年代別では、30代では「少額でも株式投資の面白味がある」や「種類が豊富で目的に応じて選べる」が他の年代より高く、積極的な投資態度がうかがえる。また、60代では「定期的に分配金が受け取れる」が「専門知識がなくても投資ができる」を大きく上回り、老後の生活資金としての意識がうかがえるが、50代では後者の方が高い。

年収別でみると、“800万円未満”の層では「定期的に分配金が受け取れる」は年収の低い層ほど高い。また、“300万円以上800万円未満”の層では「少額でも分散投資ができる」が高く、中でも500万円以上800万円未満の層では「海外投資が手軽にできる」も高い。

地域別では、大きな差はみられない。

投資信託保有状況別でみると、「定期的に分配金が受け取れる」をはじめ、「比較的高い利回りが期待できる」「少額でも分散投資ができる」「海外投資が手軽にできる」は現在保有層の方が高い。

投資信託保有種類別でみると、株式投資信託保有層はその他投資信託保有層に比べて、「少額でも分散投資ができる」「購入手続きが簡単である」等が高い。

投資信託が優れていると感じる点のうち、特に魅力を感じる点(単数回答)としては、「比較的高い利回りが期待できる」(19.9%)と「定期的に分配金が受け取れる」(19.1%)がほぼ同率で高い。重複回答で第2位の「専門知識がなくても投資ができる」は9.5%で第4位に下がる。

時系列でみると、各項目で大きな変化はみられないものの、前回までは「定期的に分配金が受け取れる」が「比較的高い利回りが期待できる」より高かったが、今回は両者に差はみられない。

対象者属性別にみると、男性では「比較的高い利回りが期待できる」が、女性では「定期的に分配金が受け取れる」が最も高い。男性の方が「少額でも株式投資の面白味がある」は高く、女性よりも積極的な投資態度がうかがえる。

年代別では、「比較的高い利回りが期待できる」は40~50代の中年層でやや高い。「定期的に分配金が受け取れる」は40代と60代で高く、60代ではこれが特に高い。

年収別では、“300万円未満”の層では「定期的に分配金が受け取れる」が高い。

地域別では、大きな差はみられない。

投資信託保有状況別では、現在保有層は保有経験層に比べて「比較的高い利回りが期待できる」や「定期的に分配金が受け取れる」が高いが、「少額でも株式投資の面白味がある」「専門知識がなくても投資できる」はやや低い。

投資信託保有種類別では、その他投資信託保有層は株式投資信託保有層に比べて「定期的に分配金が受け取れる」がやや高い。

問 17①【投資信託の優れていると感じる点(重複回答)／時系列

－現在保有層・保有経験層ベース

	N	定期的に 分配金が 受け取れる	専門知識が なくても 投資が できる	比較的高い 利回りが 期待できる	少額でも 株式投資の 面白味 がある	少額でも 分散投資が できる	購入手続き が簡単で ある	海外投資が 手軽に できる	積立て 投資が できる	分配金が 自動的に 複利に回 る商品 がある	種類が豊富 で目的に 応じて 選べる	その他	よく わからない	無回答
平成23年	241	43.6	40.2	33.6	29.0	28.2	26.6	17.4	15.4	14.5	13.7	0.4	14.1	2.1
平成22年	255	46.3	43.9	35.3	35.7	-	27.1	20.0	21.6	16.9	25.9	1.2	12.5	1.2
平成20年	231	48.9	52.4	45.5	34.2	-	32.9	18.6	18.6	14.7	19.9	1.3	6.9	0.9
平成19年	230	43.0	50.0	49.6	33.5	-	30.4	16.5	18.3	21.7	18.7	1.3	9.1	3.0

※ 今回より「少額でも分散投資ができる」を追加。

問 17①【投資信託の優れていると感じる点(重複回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

	N	定期的に 分配金が 受け取れる	専門知識が なくても 投資が できる	比較的高い 利回りが 期待できる	少額でも 株式投資の 面白味 がある	少額でも 分散投資が できる	購入手続き が簡単で ある	海外投資が 手軽に できる	積立て 投資が できる	分配金が 自動的に 複利に回 る商品 がある	種類が豊富 で目的に 応じて 選べる	その他	よく わからない	無回答
全体	241	43.6	40.2	33.6	29.0	28.2	26.6	17.4	15.4	14.5	13.7	0.4	14.1	2.1
性別														
男性	114	38.6	40.4	35.1	35.1	34.2	28.9	18.4	17.5	14.0	18.4	0.9	9.6	2.6
女性	127	48.0	40.2	32.3	23.6	22.8	24.4	16.5	13.4	15.0	9.4	0.0	18.1	1.6
年代別														
20代	4	75.0	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0
30代	30	40.0	40.0	30.0	43.3	33.3	33.3	30.0	16.7	23.3	30.0	0.0	13.3	0.0
40代	34	38.2	32.4	38.2	32.4	38.2	20.6	26.5	23.5	17.6	17.6	0.0	2.9	0.0
50代	40	35.0	60.0	40.0	30.0	32.5	27.5	15.0	20.0	17.5	10.0	0.0	10.0	5.0
60代	75	52.0	30.7	32.0	22.7	26.7	22.7	16.0	10.7	10.7	10.7	1.3	18.7	1.3
70歳以上	58	41.4	43.1	29.3	27.6	19.0	31.0	8.6	12.1	10.3	8.6	0.0	17.2	3.4
年収別														
100万円未満	48	52.1	35.4	33.3	31.3	25.0	20.8	14.6	20.8	20.8	10.4	0.0	12.5	2.1
～300万円 未満	74	47.3	44.6	39.2	21.6	17.6	29.7	16.2	8.1	10.8	9.5	1.4	14.9	1.4
～500万円 未満	38	42.1	44.7	23.7	31.6	47.4	28.9	10.5	13.2	10.5	13.2	0.0	21.1	2.6
～800万円 未満	39	33.3	46.2	35.9	30.8	38.5	35.9	33.3	28.2	20.5	20.5	0.0	5.1	5.1
～1000万円 未満	14	42.9	21.4	35.7	50.0	28.6	14.3	21.4	7.1	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0
1000万円 以上	10	20.0	50.0	20.0	50.0	20.0	40.0	30.0	10.0	0.0	20.0	0.0	10.0	0.0
地域別														
首都圏	152	41.4	40.1	32.2	30.9	28.3	28.9	17.8	17.8	15.8	14.5	0.7	14.5	1.3
阪神圏	89	47.2	40.4	36.0	25.8	28.1	22.5	16.9	11.2	12.4	12.4	0.0	13.5	3.4

問 17①【投資信託の優れていると感じる点(重複回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

	N	定期的に 分配金が 受け取れる	専門知識が なくても 投資が できる	比較的高い 利回りが 期待できる	少額でも 株式投資の 面白味 がある	少額でも 分散投資が できる	購入手続き が簡単で ある	海外投資が 手軽に できる	積立て 投資が できる	分配金が 自動的に 複利に回 る商品 がある	種類が豊富 で目的に 応じて 選べる	その他	よく わからない	無回答
全体	241	43.6	40.2	33.6	29.0	28.2	26.6	17.4	15.4	14.5	13.7	0.4	14.1	2.1
保有状況別														
現在保有層	142	55.6	40.8	38.7	27.5	32.4	26.1	22.5	16.2	15.5	15.5	0.0	9.2	2.1
保有経験層	99	26.3	39.4	26.3	31.3	22.2	27.3	10.1	14.1	13.1	11.1	1.0	21.2	2.0
保有種類別														
株式投資信託 保有層	86	60.5	43.0	37.2	31.4	38.4	31.4	25.6	15.1	14.0	16.3	0.0	11.6	0.0
公社債投資信託 のみ保有層	18	33.3	16.7	50.0	16.7	27.8	33.3	5.6	33.3	27.8	16.7	0.0	5.6	0.0
その他投資信託 保有層	33	60.6	51.5	39.4	24.2	21.2	9.1	27.3	9.1	12.1	15.2	0.0	3.0	0.0

問 17②【投資信託の特に魅力を感じる点(単数回答)／時系列

－現在保有層・保有経験層ベース

1つだけ

	N	比較的高い 利回りが 期待できる	定期的に 分配金が 受け取れる	少額でも 株式投資の 面白味がある	専門知識が なくても 投資ができる	少額でも 分散投資が できる	海外投資が 手軽に できる	分配金が 自動的に 複利に回る 商品がある	種類が豊富 で目的に 応じて 選べる	積立て 投資が できる	購入手続き が簡単で ある	その他	よく わからない	無回答
平成23年	241	19.9	19.1	10.8	9.5	8.3	4.1	3.3	2.9	2.9	2.5	0.4	13.7	2.5
平成22年	255	16.5	25.5	11.8	11.0	-	2.7	2.0	4.3	5.5	4.3	0.0	14.1	2.4
平成20年	231	19.0	23.8	12.6	13.4	-	4.8	2.6	3.0	4.3	4.8	0.9	8.2	2.6
平成19年	230	27.8	20.0	9.1	14.3	-	1.3	2.6	4.3	3.9	1.7	1.3	10.4	3.0

※ 今回より「少額でも分散投資ができる」を追加。

問 17②【投資信託の特に魅力を感じる点(単数回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

1つだけ

	N	比較的高い 利回りが 期待できる	定期的に 分配金が 受け取れる	少額でも 株式投資の 面白味がある	専門知識が なくても 投資ができる	少額でも 分散投資が できる	海外投資が 手軽に できる	分配金が 自動的に 複利に回る 商品がある	種類が豊富 で目的に 応じて 選べる	積立て 投資が できる	購入手続き が簡単で ある	その他	よく わからない	無回答
全体	241	19.9	19.1	10.8	9.5	8.3	4.1	3.3	2.9	2.9	2.5	0.4	13.7	2.5
性別														
男性	114	22.8	14.0	14.9	8.8	10.5	4.4	1.8	2.6	4.4	2.6	0.9	9.6	2.6
女性	127	17.3	23.6	7.1	10.2	6.3	3.9	4.7	3.1	1.6	2.4	0.0	17.3	2.4
年代別														
20代	4	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
30代	30	10.0	13.3	13.3	3.3	13.3	6.7	3.3	10.0	10.0	3.3	0.0	13.3	0.0
40代	34	26.5	26.5	14.7	5.9	8.8	5.9	2.9	2.9	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0
50代	40	27.5	12.5	7.5	12.5	12.5	5.0	2.5	0.0	7.5	0.0	0.0	7.5	5.0
60代	75	18.7	26.7	9.3	8.0	8.0	2.7	2.7	2.7	0.0	0.0	1.3	18.7	1.3
70歳以上	58	19.0	12.1	12.1	13.8	1.7	3.4	5.2	1.7	0.0	8.6	0.0	17.2	5.2
年収別														
100万円未満	48	18.8	25.0	12.5	8.3	6.3	0.0	6.3	2.1	4.2	2.1	0.0	12.5	2.1
～300万円未満	74	24.3	23.0	6.8	8.1	5.4	4.1	2.7	4.1	0.0	2.7	1.4	16.2	1.4
～500万円未満	38	13.2	13.2	10.5	13.2	15.8	2.6	2.6	7.9	0.0	2.6	0.0	15.8	2.6
～800万円未満	39	25.6	10.3	10.3	12.8	10.3	2.6	2.6	0.0	12.8	2.6	0.0	5.1	5.1
～1000万円未満	14	14.3	7.1	28.6	7.1	14.3	14.3	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0
1000万円以上	10	10.0	20.0	10.0	10.0	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0
地域別														
首都圏	152	18.4	19.1	11.8	8.6	8.6	3.9	4.6	3.3	3.9	2.6	0.7	13.2	1.3
阪神圏	89	22.5	19.1	9.0	11.2	7.9	4.5	1.1	2.2	1.1	2.2	0.0	14.6	4.5

問 17②【投資信託の特に魅力を感じる点(単数回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

1つだけ

	N	比較的高い 利回りが 期待できる	定期的に 分配金が 受け取れる	少額でも 株式投資の 面白味がある	専門知識が なくても 投資ができる	少額でも 分散投資が できる	海外投資が 手軽に できる	分配金が 自動的に 複利に回る 商品がある	種類が豊富 で目的に 応じて 選べる	積立て 投資が できる	購入手続き が簡単で ある	その他	よく わからない	無回答
全体	241	19.9	19.1	10.8	9.5	8.3	4.1	3.3	2.9	2.9	2.5	0.4	13.7	2.5
保有状況別														
現在保有層	142	23.2	25.4	7.7	5.6	10.6	6.3	2.8	1.4	4.2	2.8	0.0	7.0	2.8
保有経験層	99	15.2	10.1	15.2	15.2	5.1	1.0	4.0	5.1	1.0	2.0	1.0	23.2	2.0
保有種類別														
株式投資信託保有層	86	19.8	24.4	11.6	5.8	16.3	7.0	3.5	1.2	1.2	1.2	0.0	8.1	0.0
公社債投資信託のみ保有層	18	38.9	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	27.8	5.6	0.0	5.6	0.0
その他投資信託保有層	33	24.2	39.4	3.0	9.1	3.0	9.1	0.0	0.0	0.0	6.1	0.0	6.1	0.0

(13) 投資信託の不満を感じる点

①対象者属性別・保有状況別の不満を感じる点

投資信託の不満を感じる点(重複回答)は、「元本保証がない」が 60.6%と最も高い。次いで「手数料が高い」(39.8%)、「運用実績がわかりにくい」(28.2%)、「公社債に比べて安心できない」(24.1%)、「種類が多く選択に迷う」(20.3%)の順に続く。

時系列でも、特に大きな変化はみられない。

対象者属性別で見ると、性別では、「運用実績がわかりにくい」「利回りがもの足りない」「株式に比べて面白さに欠ける」という不満は男性の方がやや高い。

年代別では、「手数料が高い」は40～50代で比較的高いが、年代が上がるにしたがって、この不満は低下する。一方、「公社債に比べて安心できない」は40代以上で年代が上がるほど不満が高くなる。

年収別では、「公社債に比べて安心できない」は500万円以上800万円未満の層で高い。

地域別では、「元本保証がない」は首都圏の方が阪神圏より高い。

投資信託保有状況別については、「手数料が高い」や「種類が多く選択に迷う」は現在保有層の方が高く、「公社債に比べて安心できない」は保有経験層の方が高い。

投資信託保有種類別で見ると、その他投資信託保有層は株式投資信託保有層に比べて、「元本保証がない」が高いが、「種類が多く選択に迷う」は低い。

投資信託の不満を感じる点のうち、特に不満を感じる点(単数回答)でも「元本保証がない」が38.2%を占め、特に高い。第2位は「手数料が高い」(13.7%)であり、第3位以下は10%未満と低い。

時系列でも、特に大きな変化はみられない。

対象者属性別についてみると、性別では、いずれの項目とも大きな差はみられない。

年代別では、「元本保証はない」は50代で比較的高く、「手数料が高い」は40代がやや高い。

年収別で見ると、「元本保証がない」は年収が低い層に比べて“300万円以上800万円未満”の層の不満が高めである。

地域別では大きな差はみられない。

投資信託保有状況別については、「手数料が高い」が現在保有層で高い。

投資信託保有種類別で見ると、その他投資信託保有層は「元本保証がない」が半数近くを占め、株式投資信託保有層に比べてやや高い。

問 18①【投資信託の不满を感じる点(重複回答)】／時系列—現在保有層・保有経験層ベース

	N	元本保証がない	手数料が高い	運用実績がわかりにくい	公社債に比べて安心できない	種類が多く選択に迷う	購入後の運用に関する情報が少ない	利回りがものたりない	株式に比べて面白さに欠ける	なんとなくなじめない	購入手続きがわずらわしい	クローズド期間がある	近くに証券会社銀行等の店舗がない	その他	よくわからない	無回答
平成23年	241	60.6	39.8	28.2	24.1	20.3	16.6	16.2	15.4	12.0	7.1	5.8	4.1	2.5	7.9	2.1
平成22年	255	59.6	37.6	32.5	25.5	18.8	16.1	19.6	16.1	12.2	8.2	5.1	6.3	2.4	9.0	2.7
平成20年	231	62.8	42.4	32.5	26.8	20.8	17.3	21.2	17.7	6.9	5.6	4.3	5.6	3.0	6.1	1.3
平成19年	230	58.7	36.5	22.6	22.2	24.3	17.8	15.7	19.1	6.5	4.3	3.9	5.7	1.3	7.4	3.9

問 18①【投資信託の不满を感じる点(重複回答)】／対象者属性別

—現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

	N	元本保証がない	手数料が高い	運用実績がわかりにくい	公社債に比べて安心できない	種類が多く選択に迷う	購入後の運用に関する情報が少ない	利回りがものたりない	株式に比べて面白さに欠ける	なんとなくなじめない	購入手続きがわずらわしい	クローズド期間がある	近くに証券会社銀行等の店舗がない	その他	よくわからない	無回答
全体	241	60.6	39.8	28.2	24.1	20.3	16.6	16.2	15.4	12.0	7.1	5.8	4.1	2.5	7.9	2.1
性別																
男性	114	57.9	35.1	33.3	24.6	23.7	18.4	21.9	24.6	9.6	3.5	7.9	5.3	4.4	4.4	2.6
女性	127	63.0	44.1	23.6	23.6	17.3	15.0	11.0	7.1	14.2	10.2	3.9	3.1	0.8	11.0	1.6
年代別																
20代	4	25.0	75.0	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
30代	30	63.3	36.7	30.0	20.0	26.7	13.3	16.7	16.7	13.3	13.3	10.0	3.3	3.3	10.0	0.0
40代	34	61.8	52.9	17.6	11.8	20.6	8.8	14.7	8.8	8.8	14.7	5.9	8.8	2.9	0.0	0.0
50代	40	60.0	52.5	25.0	20.0	25.0	25.0	22.5	17.5	10.0	7.5	2.5	0.0	0.0	10.0	5.0
60代	75	62.7	37.3	29.3	26.7	22.7	16.0	14.7	9.3	17.3	5.3	5.3	4.0	2.7	9.3	1.3
70歳以上	58	58.6	25.9	32.8	34.5	10.3	17.2	15.5	25.9	8.6	1.7	5.2	5.2	3.4	6.9	3.4
年収別																
100万円未満	48	64.6	52.1	29.2	16.7	18.8	20.8	14.6	8.3	20.8	16.7	4.2	6.3	2.1	4.2	2.1
～300万円未満	74	63.5	33.8	29.7	28.4	17.6	14.9	16.2	14.9	14.9	4.1	6.8	4.1	2.7	9.5	2.7
～500万円未満	38	50.0	34.2	26.3	23.7	21.1	10.5	13.2	13.2	5.3	5.3	2.6	7.9	5.3	10.5	2.6
～800万円未満	39	69.2	41.0	30.8	38.5	25.6	25.6	15.4	17.9	12.8	2.6	10.3	2.6	2.6	2.6	2.6
～1000万円未満	14	50.0	50.0	21.4	14.3	14.3	7.1	35.7	35.7	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1000万円以上	10	40.0	40.0	30.0	0.0	30.0	20.0	30.0	20.0	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0
地域別																
首都圏	152	65.1	38.8	27.6	25.0	17.1	14.5	18.4	15.8	11.2	5.3	7.2	5.9	2.0	7.9	1.3
阪神圏	89	52.8	41.6	29.2	22.5	25.8	20.2	12.4	14.6	13.5	10.1	3.4	1.1	3.4	7.9	3.4

問 18①【投資信託の不满を感じる点(重複回答)】／保有状況・保有種類別

—現在保有層・保有経験層ベース

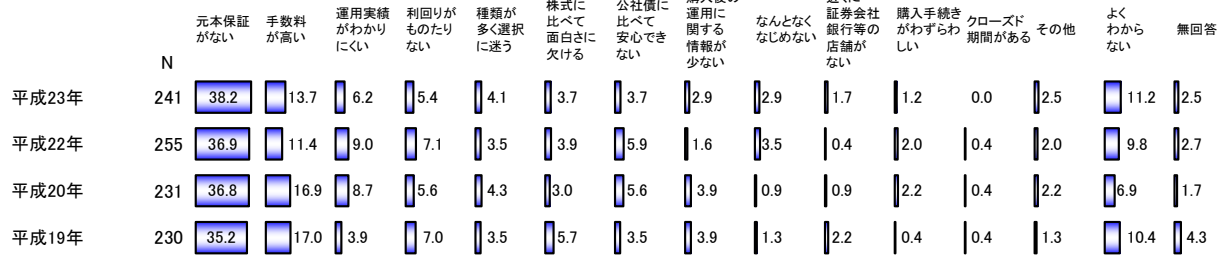
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

	N	元本保証がない	手数料が高い	運用実績がわかりにくい	公社債に比べて安心できない	種類が多く選択に迷う	購入後の運用に関する情報が少ない	利回りがものたりない	株式に比べて面白さに欠ける	なんとなくなじめない	購入手続きがわずらわしい	クローズド期間がある	近くに証券会社銀行等の店舗がない	その他	よくわからない	無回答
全体	241	60.6	39.8	28.2	24.1	20.3	16.6	16.2	15.4	12.0	7.1	5.8	4.1	2.5	7.9	2.1
保有状況別																
現在保有層	142	61.3	46.5	26.1	19.0	26.1	15.5	16.9	17.6	11.3	9.9	3.5	3.5	3.5	3.5	2.8
保有経験層	99	59.6	30.3	31.3	31.3	12.1	18.2	15.2	12.1	13.1	3.0	9.1	5.1	1.0	14.1	1.0
保有種類別																
株式投資信託保有層	86	59.3	47.7	23.3	19.8	31.4	18.6	19.8	20.9	10.5	7.0	3.5	4.7	5.8	4.7	1.2
公社債投資信託のみ保有層	18	55.6	50.0	44.4	16.7	22.2	11.1	22.2	16.7	27.8	27.8	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0
その他投資信託保有層	33	72.7	48.5	27.3	18.2	15.2	12.1	9.1	12.1	6.1	9.1	0.0	3.0	0.0	3.0	0.0

問 18②【投資信託の特に不満に感じる点(単数回答)／時系列

－現在保有層・保有経験層ベース

1つだけ

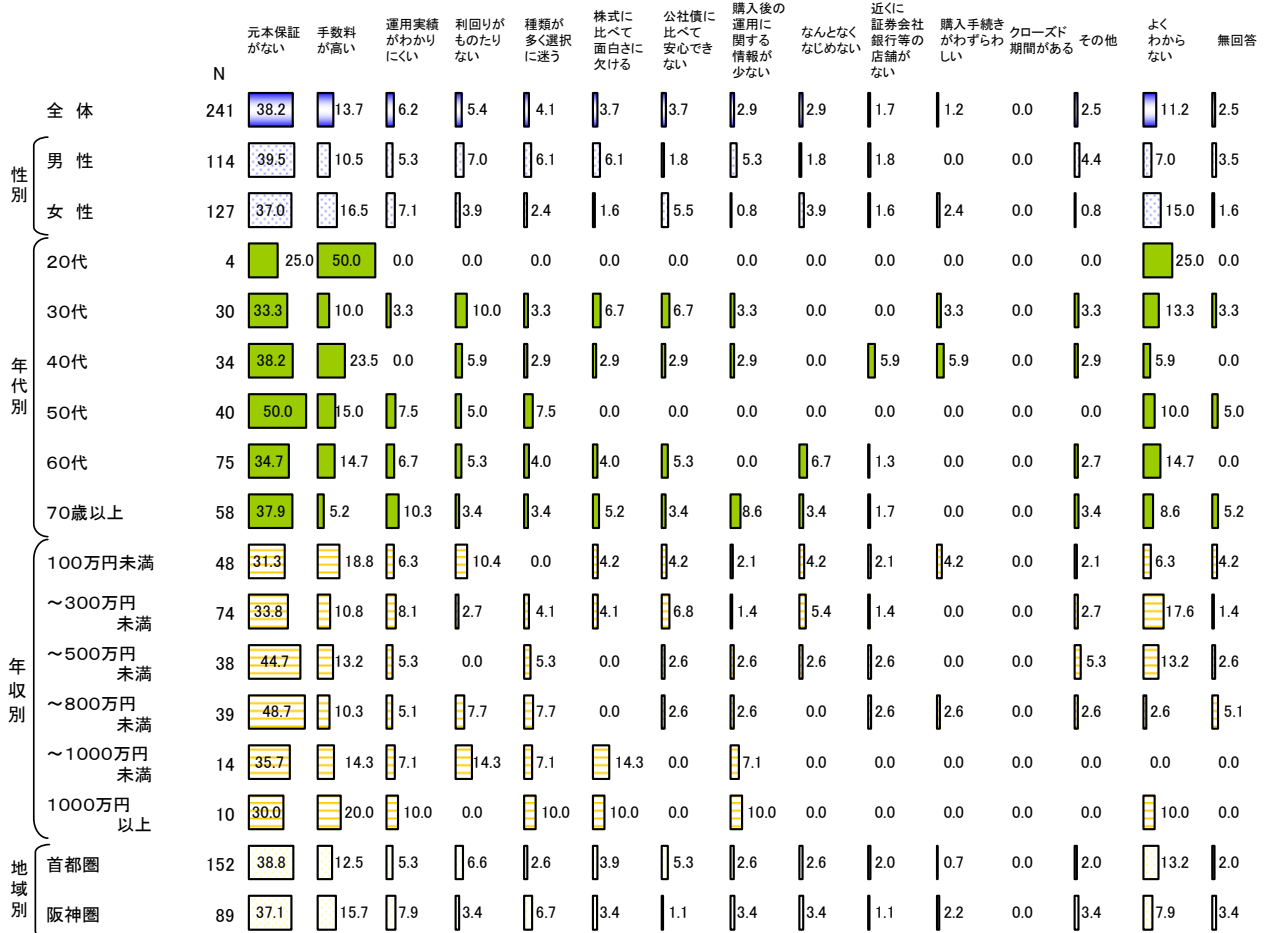


問 18②【投資信託の特に不満に感じる点(単数回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

1つだけ

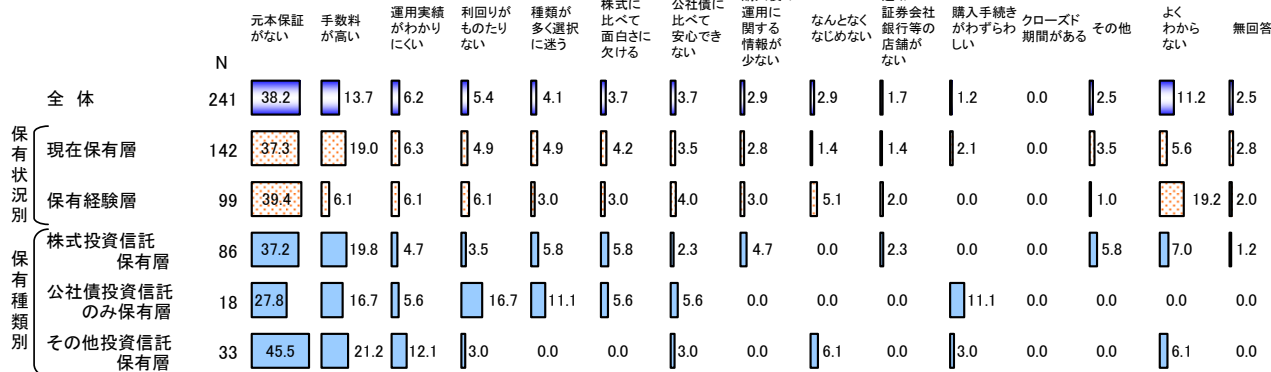


問 18②【投資信託の特に不満に感じる点(単数回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

1つだけ



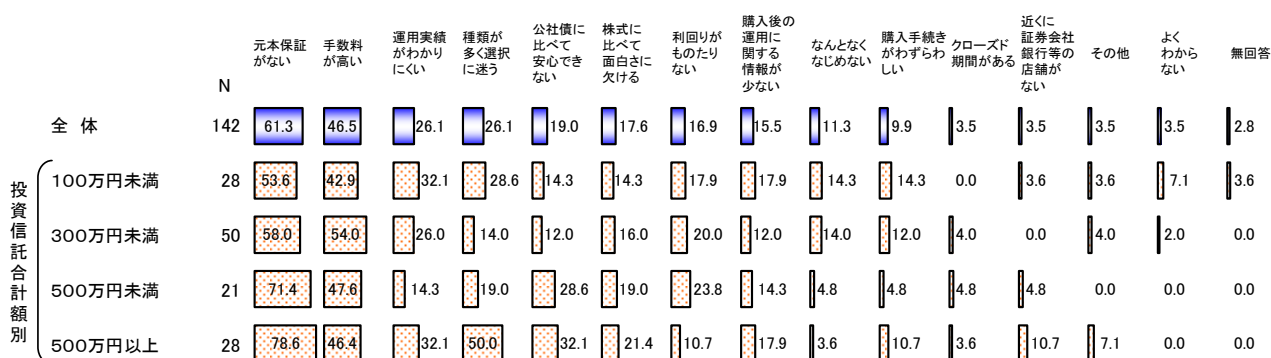
②投資信託購入合計額別の不満を感じる点(現在保有層)

投資信託現在保有層に限定して、投資信託の購入合計額別(13 ページ参照)に、不満点(重複回答・単数回答)をみると、N数(サンプル数)が少ない層があるため、参考データではあるが、いずれの層でも「元本保証がない」が最も高い。重複回答では、これと「公社債に比べて安心できない」は「300 万円以上」の投資家層の方が高めで、「種類が多く選択に迷う」は 500 万円以上の高額投資家層で高い。単数回答では、100 万円以上 300 万円未満の層で「手数料が高い」が高い。

問 18①【投資信託の不満を感じる点(重複回答)／投資信託購入合計額別

－現在保有層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

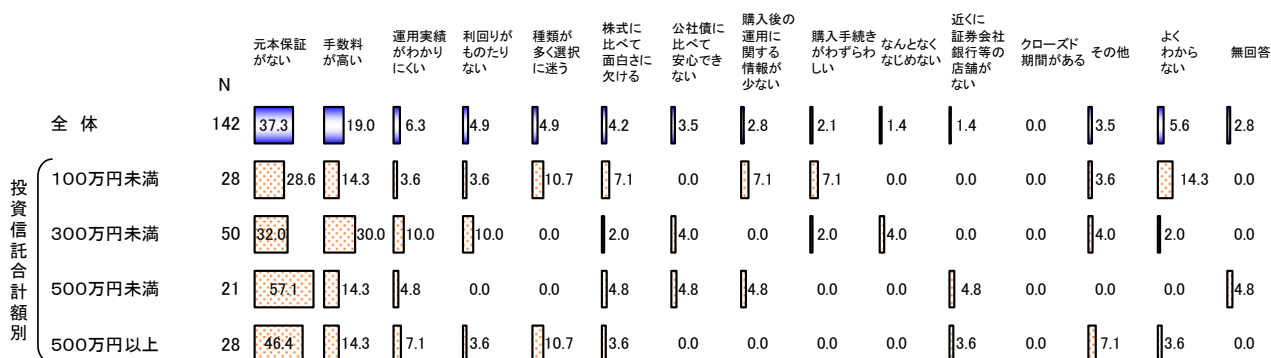


問 18②【投資信託の特に不満を感じる点(単数回答)／投資信託購入合計額別

－現在保有層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

1つだけ



5. 投資信託保有未経験者の状況

(1) 投資信託の購入意向経験

投資信託を認知しているにも関わらず、これまでに投資信託を購入したことがない人に対し、投資信託を購入したいと思ったことがあるかを尋ねたところ、「ある」＝購入意向経験率は9.9%にとどまった。

時系列でも、大きな変化はみられない。

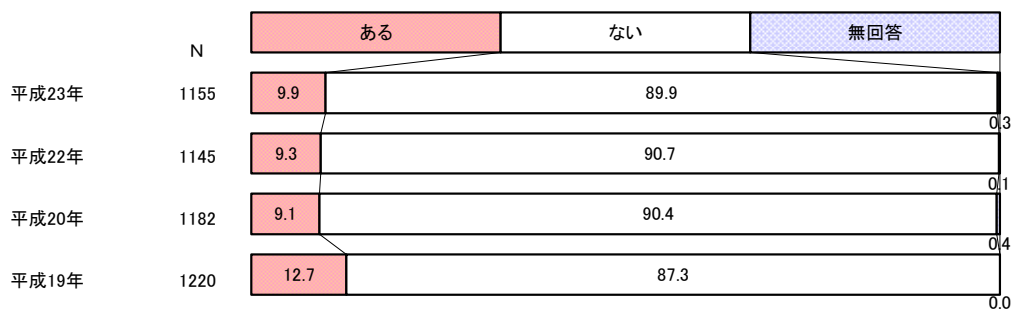
対象者属性別にみると、性別では、購入意向経験率は男性の方が女性よりやや高い。

年代別では、50代で購入意向経験率がやや高めとなっている。

年収別では、“500万円以上”の層では、それ以下の年収層に比べて、購入意向経験率がやや高い。

投資信託への関心度別にみると、保有未経験層の中でも、投資信託に関心が高いほど購入意向率が高い傾向がみられ、投資信託関心層では3人に2人が購入意向を持ったことがある。

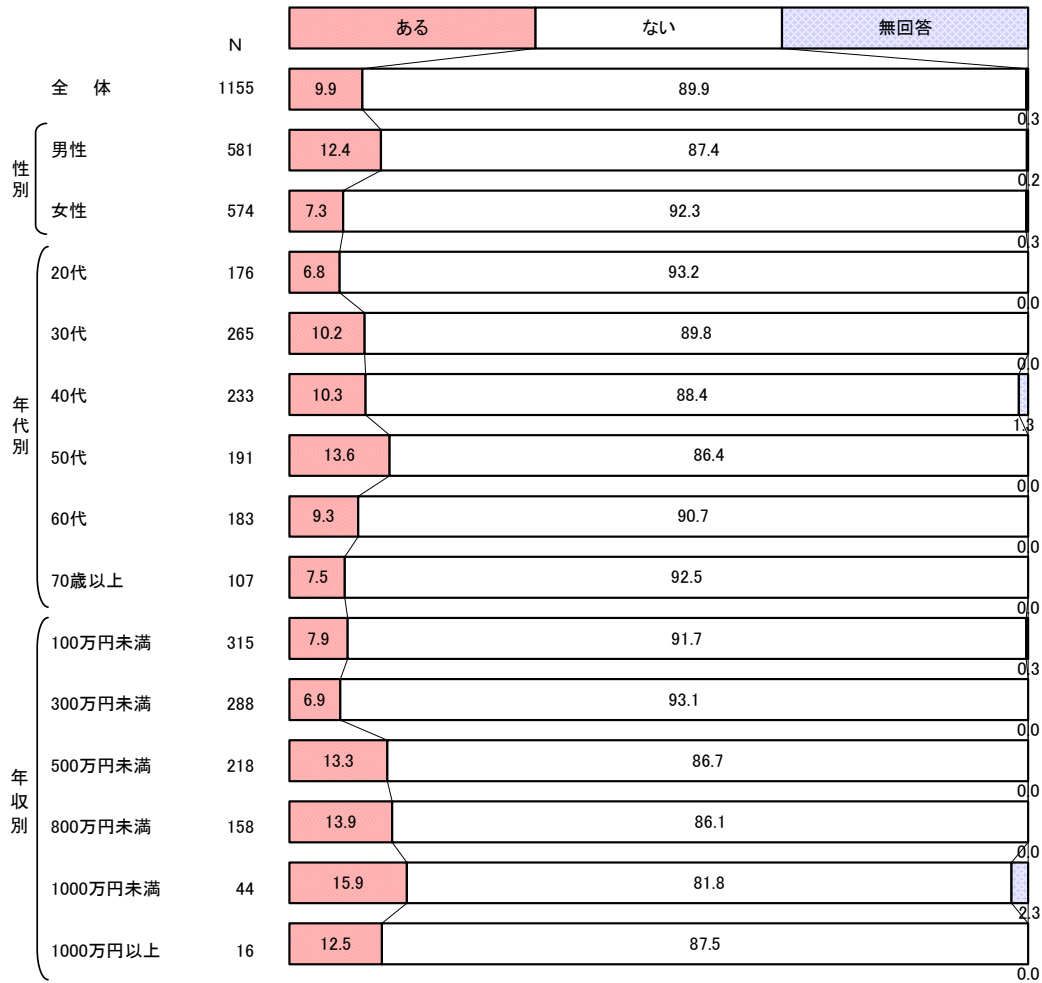
問 19 【投資信託の購入意向(単数回答)／時系列－投資信託認知者・保有未経験層ベース】



問 19【投資信託の購入意向(単数回答)／対象者属性別

－投資信託認知者・保有未経験層ベース】

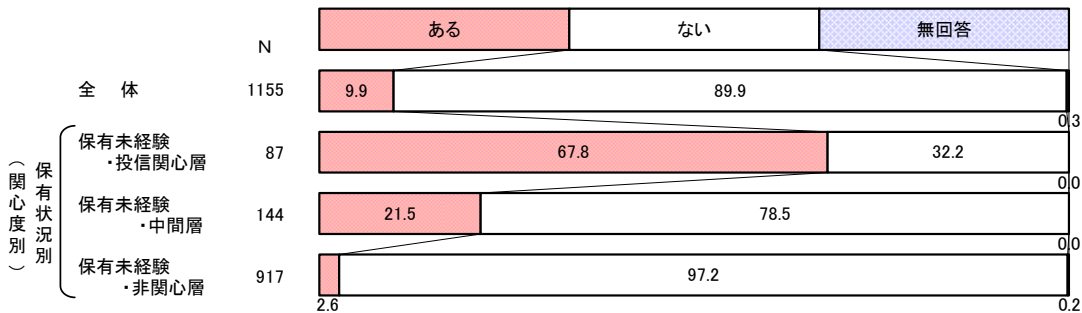
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



問 19【投資信託の購入意向(単数回答)／対象者属性別

－投資信託認知者・保有未経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



(2) 投資信託の非購入理由

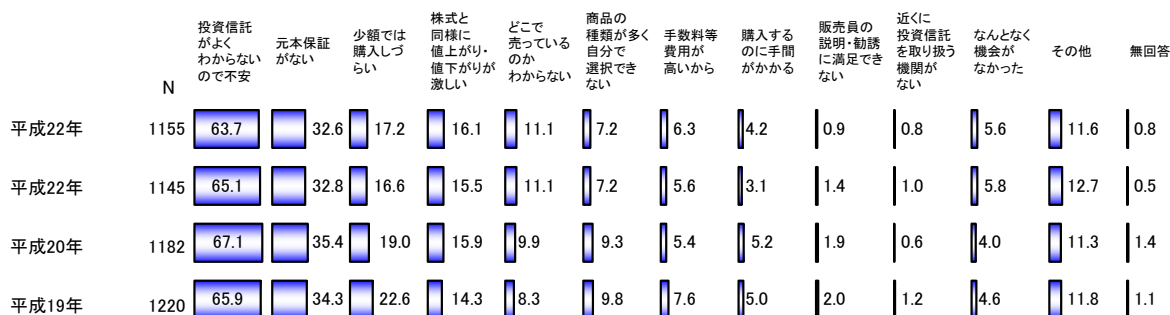
投資信託保有未経験者が投資信託を購入しなかった理由は、「投資信託がよくわからないので不安」が63.7%で特に高い。次いで「元本保証がない」(32.6%)が続くが、これら以外の理由は20%に満たず、これら2つが主な非購入理由となっている。

時系列でも、大きな変化はみられない。

投資信託への関心度別にみると、投資信託への関心が高い層ほど「元本保証がない」「少額では購入しづらい」「商品の種類が多く自分で選択できない」が高く、投信関心層では「投資信託がよくわからないので不安」が他の層に比べて低い。

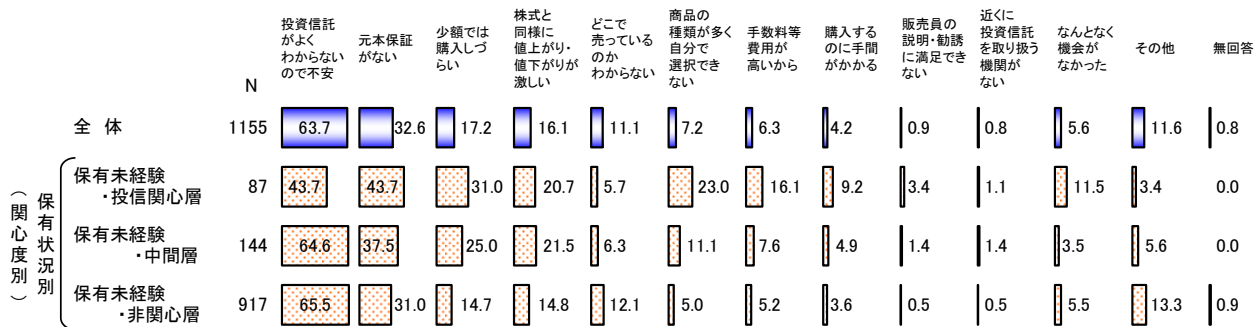
問 20 【投資信託の非購入理由(重複回答)】時系列

－投資信託認知者・保有未経験層ベース



問 20 【投資信託の非購入理由(重複回答)】投資信託購入意向別

－投資信託認知者・保有未経験層ベース



保有未経験者を投資信託への関心度合いによって分けて、対象者属性別にみると、関心度合いに関わらず、「投資信託がよくわからないので不安」は女性の方が高い。

投信関心層では、これに加えて「元本保証がない」も女性の方が高い。

投信関心中間層では、「少額では購入しづらい」は男性の方が高い。

投資信託非関心層について、さらに詳しく対象者属性別にみると、年代別では、「投資信託がよくわからないので不安」は“40代以下”の方が“50代以上”より高く、「元本保証がない」や「株式と同様に値上がり・値下がりが多い」は“50代以上”で高いが、20代では低い。

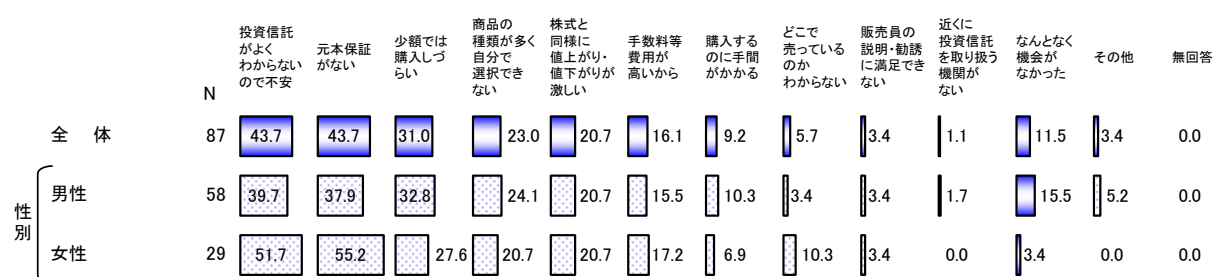
一方、「どこで売っているのかわからない」は若年層ほど高く、20代では25.0%にのぼる。

年収別では、「投資信託がよくわからないので不安」は年収の低い層ほど高い。

地域別では大きな差はみられない。

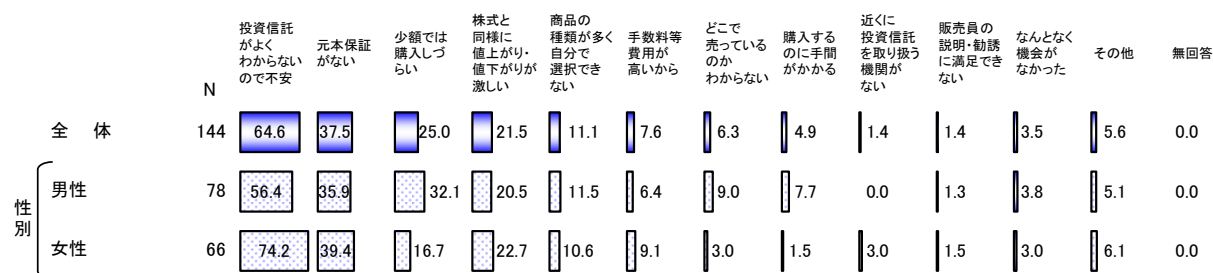
問 20【投資信託の非購入理由(重複回答)／対象者属性別

－保有未経験・投信関心層ベース



問 20【投資信託の非購入理由(重複回答)／対象者属性別

－保有未経験・投信関心中間層ベース



問 20 【投資信託の非購入理由(重複回答)／対象者属性別ー投信非関心層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

	N	投資信託 がよく わからない ので不安	元本保証 がない	株式と 同様に 値上がり・ 値下がり が激しい	少額では 購入しづ らい	どこで 売っている のかわ からない	手数料等 費用が 高いから	商品の 種類が多 く自分 で選 択でき ない	購入する のに手間 がかかる	近くに 投資信託 を取り扱 う機 関が ない	販売員 の説明・ 勧誘に 満足 でき ない	なんと なく 機 会 が な か つ た	その他	無回答
全体	917	65.5	31.0	14.8	14.7	12.1	5.2	5.0	3.6	0.5	0.5	5.5	13.3	0.9
性別														
男性	442	57.5	31.4	15.8	16.3	12.4	5.9	4.5	4.1	0.5	0.7	6.8	15.2	1.1
女性	475	73.1	30.5	13.9	13.3	11.8	4.6	5.5	3.2	0.6	0.4	4.2	11.6	0.6
年代別														
20代	148	75.7	12.8	5.4	10.8	25.0	6.1	2.7	4.1	0.7	0.0	5.4	9.5	0.7
30代	211	68.7	25.1	14.7	17.5	16.1	4.3	3.8	4.3	0.0	0.9	7.1	12.8	0.0
40代	172	69.8	38.4	12.8	13.4	9.3	5.2	4.7	3.5	0.6	0.0	6.4	12.2	1.2
50代	138	58.7	43.5	20.3	13.8	7.2	5.1	7.2	5.1	0.7	1.4	1.4	15.2	2.2
60代	154	55.8	36.4	19.5	15.6	4.5	6.5	8.4	1.9	1.3	0.6	5.8	16.9	1.3
70歳以上	94	60.6	31.9	18.1	17.0	7.4	4.3	3.2	2.1	0.0	0.0	5.3	13.8	0.0
年収別														
100万円未満	268	74.6	29.1	14.2	13.8	13.4	6.3	4.9	4.1	0.4	0.7	5.2	10.4	0.0
～300万円未満	232	65.5	32.8	14.2	12.9	7.8	3.9	4.7	3.0	0.9	0.0	6.0	14.2	0.0
～500万円未満	167	59.9	29.9	18.6	18.0	17.4	3.6	6.0	1.2	0.0	0.0	5.4	13.8	1.2
～800万円未満	115	59.1	36.5	18.3	16.5	10.4	5.2	5.2	7.0	0.9	2.6	6.1	13.9	0.0
～1000万円未満	31	61.3	38.7	9.7	9.7	3.2	12.9	6.5	6.5	3.2	0.0	3.2	19.4	3.2
1000万円以上	12	41.7	58.3	16.7	16.7	0.0	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0
地域別														
首都圏	546	68.1	28.6	15.8	14.8	14.1	4.4	5.5	3.8	0.7	0.5	3.5	14.5	1.3
阪神圏	371	61.7	34.5	13.5	14.6	9.2	6.5	4.3	3.2	0.3	0.5	8.4	11.6	0.3

(3) 投資信託購入検討のきっかけ

投資信託の購入を検討するきっかけとしては、「金融や投資を勉強して理解できたら」(22.5%)が最も高く、次いで「身近な人に勧められたら」「手取り収入が増えたら」(ともに 13.9%)が続く。一方、「購入を検討したいとは思わない」(52.6%)が投資信託保有未経験者のほぼ半数を占めるものの、残りの半数は検討の可能性がある、比較的多いといえる。

対象者属性別でみると、性別では、「購入を検討したいとは思わない」は女性の方がやや高く、男性の方が検討可能性が高いと考えられる。

年代別では、「購入を検討したいとは思わない」は40代では38.2%と低めだが、60代以上の高齢層では70%以上と高い。40代以下では50代以上に比べて回答している項目が多く、何らかのきっかけが与えられれば、投資信託を購入する可能性も高いと推測される。

年収別では、「購入を検討したいとは思わない」は年収が低いほど高い傾向がみられるが、“300万円未満”の層でも50~60%程度であり、逆にいえば40~50%はきっかけがあれば、検討に至る可能性があるといえる。

地域別では、「購入を検討したいとは思わない」は首都圏より阪神圏の方が高い。

投資信託への関心度別にみると、「購入を検討したいとは思わない」は非関心層では60%を超えるが、関心層では5%ほどに過ぎず、大半が購入を検討する可能性を示唆している。これ以外の多くの項目では関心が高いほど高い傾向がみられ、中でも「金融や投資を勉強して理解できたら」は関心層では半数を超えて高く、「初心者に説明の機会があったら」「窓口で専門家に教えてもらえたら」等も20%以上みられる。

問 21 【投資信託購入検討のきっかけ(重複回答)／対象者属性別ー保有未経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データをみる際に注意が必要。

	N	金融や投資を勉強して理解できたなら	身近な人に勧められたら	手取り収入が増えたら	貯蓄が一定額に達したら	初心者に説明の機会があったら	成長が期待できる投資対象があったら	窓口で専門家に教えてもらえたら	退職金・相続等の臨時収入があれば	購入を検討したいとは思わない	その他	無回答
全体	1155	22.5	13.9	13.9	11.5	9.8	8.7	7.5	6.2	52.6	2.0	0.5
性別												
男性	581	25.3	12.6	16.0	13.4	9.3	10.8	6.7	6.7	49.6	2.2	0.3
女性	574	19.7	15.2	11.7	9.6	10.3	6.4	8.4	5.7	55.6	1.7	0.7
年代別												
20代	176	31.3	21.0	15.3	12.5	11.9	7.4	9.1	2.8	46.0	1.1	0.6
30代	265	26.8	21.1	20.0	12.8	12.1	7.5	6.8	7.5	44.2	1.5	0.0
40代	233	31.8	15.9	22.7	15.0	11.6	12.9	10.3	6.4	38.2	3.0	1.3
50代	191	16.8	7.3	10.5	14.1	9.4	11.5	7.9	10.5	53.9	2.6	0.0
60代	183	9.3	4.4	1.6	6.0	4.4	4.4	5.5	3.8	73.8	2.2	1.1
70歳以上	107	10.3	7.5	3.7	3.7	6.5	6.5	3.7	4.7	76.6	0.9	0.0
年収別												
100万円未満	315	21.3	16.2	10.5	9.2	12.1	7.3	6.0	4.8	54.9	1.3	0.3
～300万円未満	288	19.8	13.2	14.6	11.5	7.6	7.6	9.4	5.2	58.0	1.7	0.0
～500万円未満	218	26.1	17.9	17.4	11.9	10.6	9.6	6.4	7.8	48.6	2.3	0.5
～800万円未満	158	27.2	9.5	18.4	16.5	10.8	8.9	8.2	11.4	46.8	1.3	0.0
～1000万円未満	44	27.3	9.1	15.9	25.0	9.1	22.7	15.9	2.3	34.1	0.0	2.3
1000万円以上	16	43.8	12.5	12.5	18.8	12.5	25.0	12.5	6.3	25.0	0.0	0.0
地域別												
首都圏	695	24.0	14.8	14.4	14.0	10.4	10.5	8.5	7.2	48.1	2.4	0.7
阪神圏	460	20.2	12.4	13.0	7.8	8.9	5.9	6.1	4.8	59.3	1.3	0.2

問 21 【投資信託購入検討のきっかけ(重複回答)／保有状況・保有種類別

ー保有未経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データをみる際に注意が必要。

	N	金融や投資を勉強して理解できたなら	身近な人に勧められたら	手取り収入が増えたら	貯蓄が一定額に達したら	初心者に説明の機会があったら	成長が期待できる投資対象があったら	窓口で専門家に教えてもらえたら	退職金・相続等の臨時収入があれば	購入を検討したいとは思わない	その他	無回答
全体	1155	22.5	13.9	13.9	11.5	9.8	8.7	7.5	6.2	52.6	2.0	0.5
(関心度別)												
保有未経験・投信関心層	87	54.0	14.9	24.1	35.6	25.3	28.7	21.8	13.8	4.6	2.3	0.0
保有未経験・中間層	144	31.9	19.4	27.1	20.8	15.3	16.0	16.7	8.3	25.7	2.1	0.0
保有未経験・非関心層	917	18.2	12.9	10.8	7.9	7.5	5.7	4.7	5.2	61.3	2.0	0.5